

アクティブラーニングに関する 意識調査報告書

目 次

1. 調査概要	3
2. まとめ	5
3. 本調査結果のポイント	6
4. アンケート調査結果 GTグラフ	10
クロス表【小中高別】	32
クロス表【地域別】	51
クロス表【成果の有無別】	70

1. 調査概要

調査概要

- 調査目的** : 小・中・高校におけるアクティブラーニングの実施状況を調査する。
- 調査期間** : 2015年10月7日(水)～10月12日(月)
- 調査方法** : Webアンケート方式
- 調査地区** : 全国
- 調査対象** : アクティブラーニングを導入・実践している小学校教員、中学校教員、高校教員 計100名

調査項目

1. アクティブラーニングの導入範囲
2. 主に導入しているアクティブラーニングの手法
3. アクティブラーニングの具体的な実施内容
4. アクティブラーニングの実施目的
5. アクティブラーニング導入に際し行った環境整備・設備導入
6. アクティブラーニング導入に際し行った教員の指導力向上の取り組み
7. 導入後、成果を実感したり授業・生徒の良い変化を感じたか
8. アクティブラーニングで成果や変化を感じた具体的事例
9. アクティブラーニングで成果が出た要因として考えられるもの

回答者属性

性別内訳 : 男性(73%)、女性(27%)

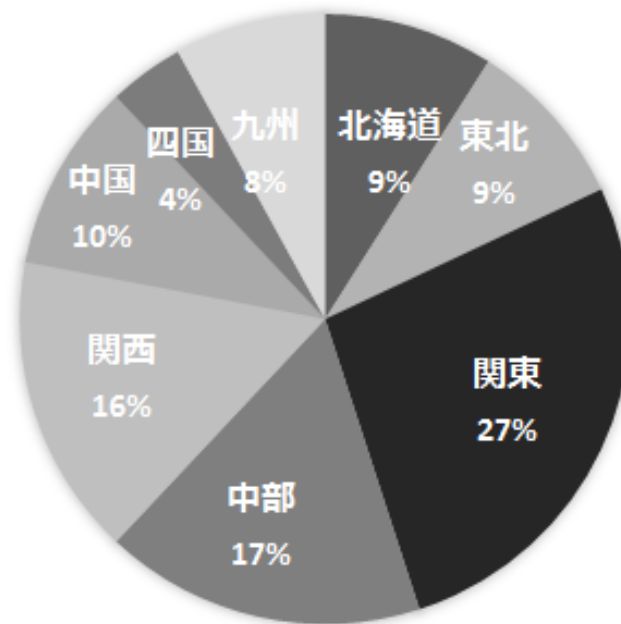
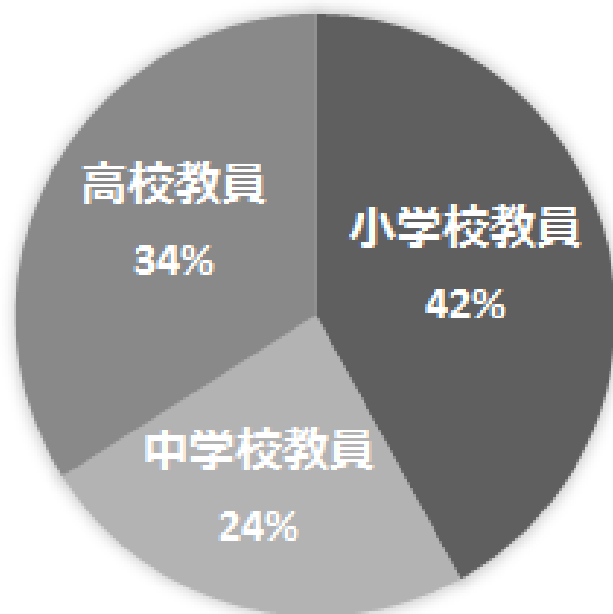
年代別内訳 : 20代(7%)、30代(20%)、40代(29%)、50代(37%)、60代(7%)

職業内訳 : 小学校教員(42%)、中学校教員(24%)、高校教員(34%)

学校形態内訳 : 小学校(42%)、中学校(22%)、高校(32%)、小中一貫校(1%)、中高一貫校(2%)、小中高一貫校(1%)

学校形態内訳 : 公立(90%)、私立(10%)

地域内訳 : 北海道(9%)、東北(9%)、関東(27%)、中部(17%)、関西(16%)、中国(10%)、四国(4%)、九州(8%)



2. まとめ

デジタル・ナレッジが運営するeラーニング戦略研究所と、株式会社Z会ラーニング・テクノロジーは2015年10月、アクティブラーニングを導入している小・中・高校教員100名を対象に、アクティブラーニングの実施状況について共同でアンケート調査を実施しました。

その結果、主に実施されているアクティブラーニングの手法は「グループワーク」79%、「問題解決学習」59%、「ディスカッション」56%の順に多く、学年・科目を超えて多面的に活用されている状況が明らかとなりました。とくに、小・中学校の9割近くが「全学年」でアクティブラーニングを取り入れており、学校を挙げて取り組んでいる導入校が多い様子が読み取れます。

アクティブラーニングの導入に際し、環境整備や教員研修はどの程度行われているのでしょうか。アンケートの結果、過半数の教員が「環境整備・設備導入は行われていない」と回答しました。一方で、7割の教員が「研修への参加」「勉強会・模擬授業の実施」といった“指導力向上の取り組み”を行っていることが明らかとなりました。このことから、環境整備は最小限に留めたうえで、教員の指導力を重視し強化している学校が多いものと考えられます。

気になるアクティブラーニングの成果は、「主体性が身に付いた」「理解度が高まった」など実に6割の教員が「成果があった」と回答しました。なお、「成果があった」と回答した教員は、“環境整備・設備導入率”および“指導力向上の取り組み実施率”が高い傾向が見られ、これらがアクティブラーニングを効果的に実施するうえで重要な意味をもつ可能性も考えられます。また、地域によってアクティブラーニングの導入手法や成果にバラつきが見られたのも興味深い点といえるでしょう。

従来の「受け身の学び」から自ら考え、調べ、答えを導く「主体的な学び」へのシフトが叫ばれるなか、先行する小・中・高校にてすでに活用が進んでいる「アクティブラーニング」。学習指導要項の改訂が全面実施される2020年に向け、その動向にさらなる注目が集まりそうです。

3. 本調査結果のポイント

■「全学年で導入」が8割超。学校を挙げて取り組むアクティブラーニング

最初に、学校におけるアクティブラーニングの導入範囲を尋ねた。

その結果、「全学年のほぼ全教科」がもっとも多く61%、「全学年の一部の科目」21%と合わせると全学年（学校全体）での導入率が8割を超えた。「一部の科目」の内訳は、算数、国語、社会、道徳、体育、総合的な学習など多岐にわたっており、学年・科目を超えてアクティブラーニングが実践されていることが分かる。とくに、小・中学校の9割近くが「全学年」アクティブラーニングを取り入れていた。

■主に実施されているのは「グループワーク」「問題解決学習」「ディスカッション」

小・中・高校で実施されているアクティブラーニングの手法は、「グループワーク」が最多で79%、次いで「問題解決学習」59%、「グループディスカッション」56%、「体験学習」40%となった。小学校では「問題解決学習」「体験学習」、中・高校では「グループワーク」「グループディスカッション」が多かった。

具体的な実施方法は、

「考えを深める場面でペアやグループで話し合いをさせる（小学校教員）」

「生徒が主体的に課題を解決する場面を設定し、調べ学習や話し合いを行う（中学校教員）」

「総合的な学習の時間における課題解決学習とプレゼンテーション（中学校教員）」

「一領域が終わるごとにグループ討議やディベートを行い理解度を確認している（高校教員）」

「問題の解法をお互いに考えさせる（高校教員）」などが挙げられた。

■ 小・中学校は「学ぶ力の向上」、高校は「能動的授業参加」が目的

アクティブラーニングの実施目的は、「生徒自ら考え学ぶ力の向上」84%、「生徒の能動的・積極的な授業参加」76%、「学習効果の向上」44%が上位を占めた。小・中学校は「生徒自ら考え学ぶ力の向上」が多く（小学校教員88.1%、中学校教員87.5%）、高校は「生徒の能動的・積極的な授業参加」が多かった（79.4%）。

■ 7割が「研修・勉強会に参加」。関西・中国・九州で指導力向上に積極的な取り組み

アクティブラーニングの実施に際し、環境整備や教員研修はどの程度行われているのだろうか。アンケートの結果、新たに行った環境整備・設備導入は「パソコンやタブレット端末」34%、「プレゼンテーションや映像視聴専用の教室スペース」18%、「無線LANなど」16%となったが、もっとも多かったのは「特に導入しているものはない」53%で過半数を占めた。

一方、教員の指導力向上のための取り組み状況は「教員向け研修講演への参加」50%、「教員間の授業参観や勉強会の実施」41%、「模擬授業の実施」22%が上位となった。「特に取り組んでいることはない」は32%で、7割の教員が何らかの取り組みを行っていることが読み取れる。

この指導力向上のための取り組み状況は地域によって大きな差が見られた。例えば、「教員間の授業参観や勉強会の実施」は関西75%、中国60%に対し、関東では22%に留まっている。全体的に関西・中国・九州地方の教員は指導力向上の取り組みに積極的な傾向が見られた。

■ 「主体性が身に付いた」「理解度が高まった」「思考力・表現力の向上」 ■ 6割がアクティブラーニングの成果を実感

アクティブラーニング導入により成果を実感したり授業・生徒の良い変化を感じるかどうかを尋ねたところ、「はい」は59%で、「いいえ」はわずか1%だった。地域別に見ると、「はい」と答えたのは、関西81.3%、中国70%、九州75%が多く、関東48.1%を大きく上回った。

成果や変化を感じた具体的事例を尋ねたところ、
「意見を聞くだけのお客さんのような生徒が減った」「進んで学習するようになった」(小学校教員)、
「学習内容の理解度が高まった」「授業の雰囲気が変わった」「発表能力が上がった」(中学校教員)、
「主体性が身に付いた」「思考力や表現力の向上」「時間が早く進むとの反応が多い」(高校教員)
など様々な事例が挙げられた。

また、こうした成果が出た要因については、
「多様な考えに出会えたこと」「学習は自分たちで進めていくという意識の変化」(小学校教員)、
「一人ひとりに役割を与え、全員が参加できるようにした」「教員の意識改革」(中学校教員)、
「題材の精選と意見を引き出す展開」「だれでも参加できる難易度の設定」「生徒が話すことで脳を使うようになった」(高校教員)などとなった。

なお、「アクティブラーニングの成果があった」と答えた教員は「問題解決学習」「グループディスカッション」「調査学習」の実施率が平均より高めの傾向が見られた。

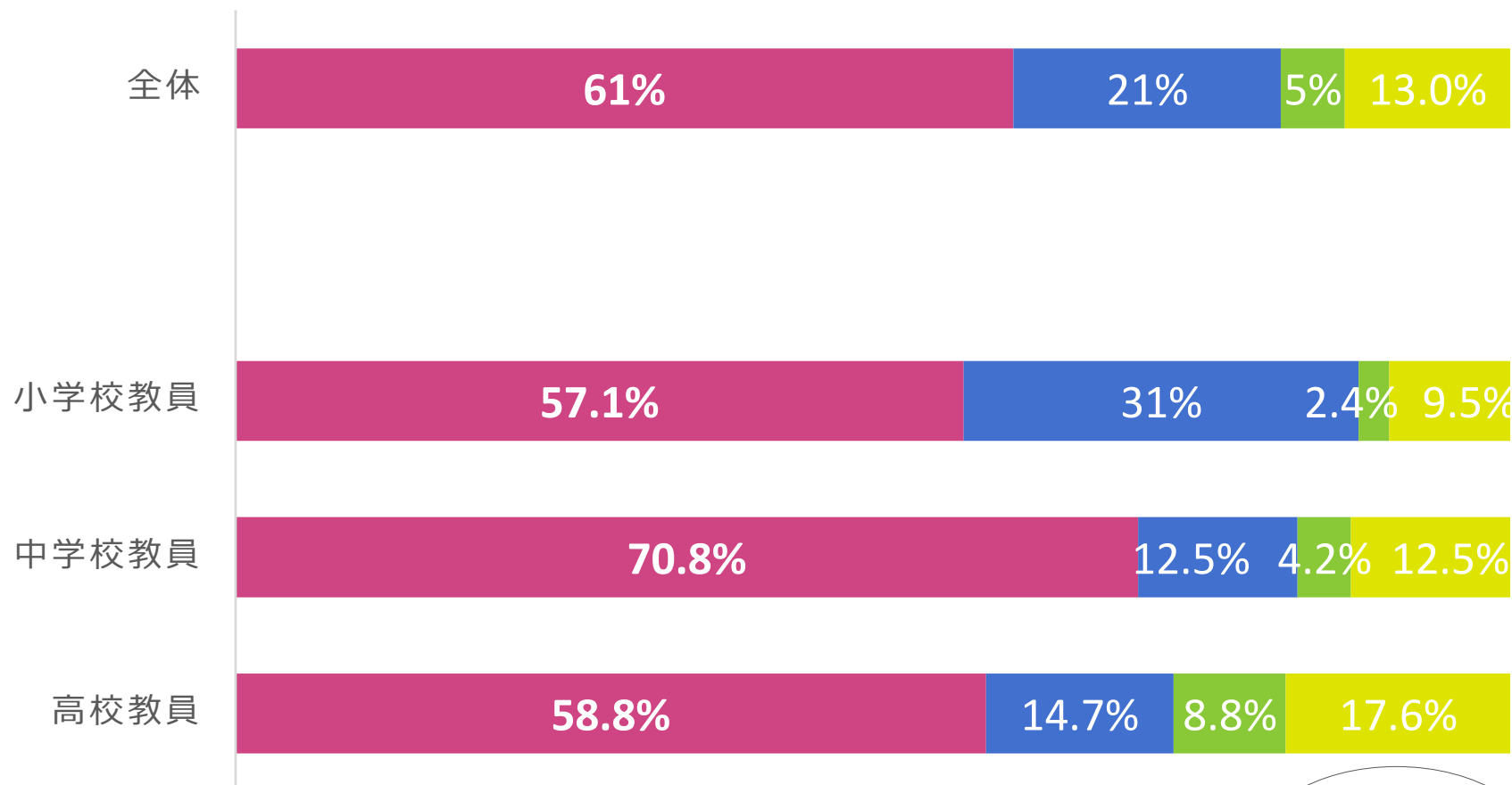
さらに、「アクティブラーニングの成果があった」と答えた教員は、“環境整備・設備導入率”および“指導力向上の取り組み実施率”が平均より高い傾向が見られた。

5. アンケート調査結果

GTグラフ

1. アクティブラーニングの導入範囲

■ 全学年ほぼ全教科 ■ 全学年の一部の科目 ■ 一部の学年の全科目 ■ 一部の学年の一部の科目



小・中学校は
全学年への
導入が多い。

1-1. 「全学年の一部の科目」の内訳（導入した科目名）

全学年の一部の科目（導入した科目名）	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
算数	男性	55歳	三重県	小学校教員
社会科、総合	男性	45歳	北海道	小学校教員
社会	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
国語、算数	男性	45歳	東京都	小学校教員
算数	男性	53歳	秋田県	小学校教員
算数、理科、国語、社会科、道徳	女性	52歳	東京都	小学校教員
算数、国語、体育、生活	女性	35歳	京都府	小学校教員
算数、理科	男性	48歳	広島県	小学校教員
音楽	女性	30歳	大阪府	小学校教員
生活科、総合的な学習	男性	59歳	福岡県	小学校教員
道徳	男性	51歳	東京都	小学校教員
単元による	男性	31歳	神奈川県	小学校教員
算数	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
総合学習、日本語	女性	46歳	東京都	中学校教員
国語	男性	41歳	北海道	中学校教員
理科	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
体育	男性	54歳	長野県	高校教員
数学、物理	男性	60歳	福岡県	高校教員
英語、国語、社会	男性	41歳	東京都	高校教員
コミュニケーション英語Ⅱ	男性	42歳	山形県	高校教員
社会	男性	30歳	福岡県	高校教員

1－2. 「一部の学年の全科目」の内訳（導入した学年）

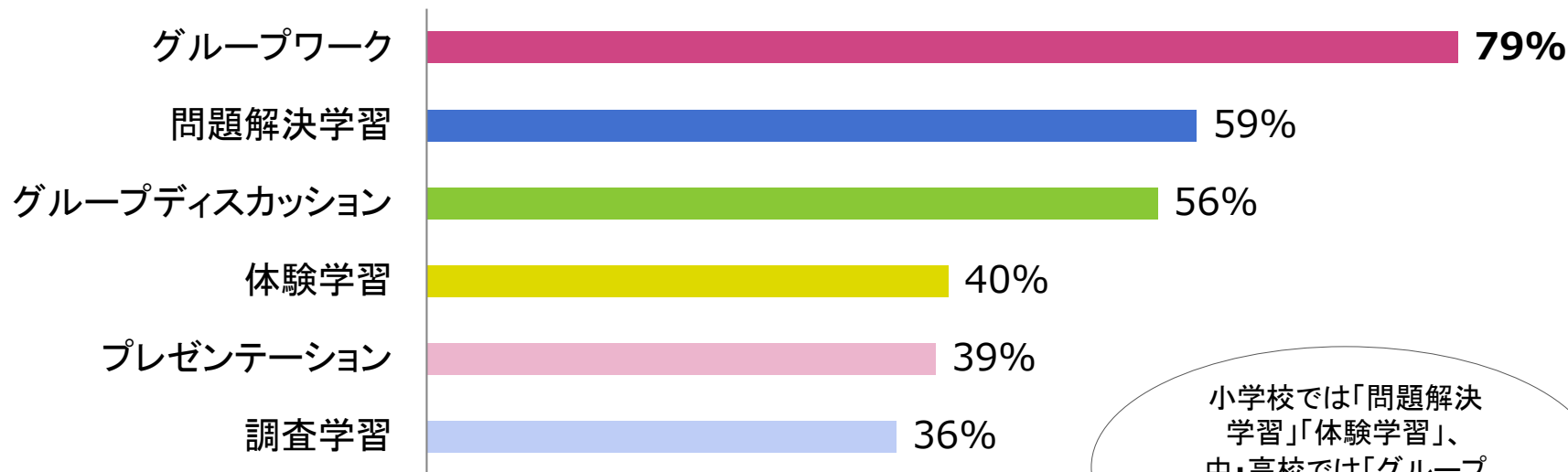
一部の学年の全科目（導入した学年）	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
高校2年	男性	39歳	岐阜県	高校教員
高校3年	男性	31歳	愛媛県	高校教員

1-3. 「一部の学年の一部の科目」の内訳（導入した学年・科目名）

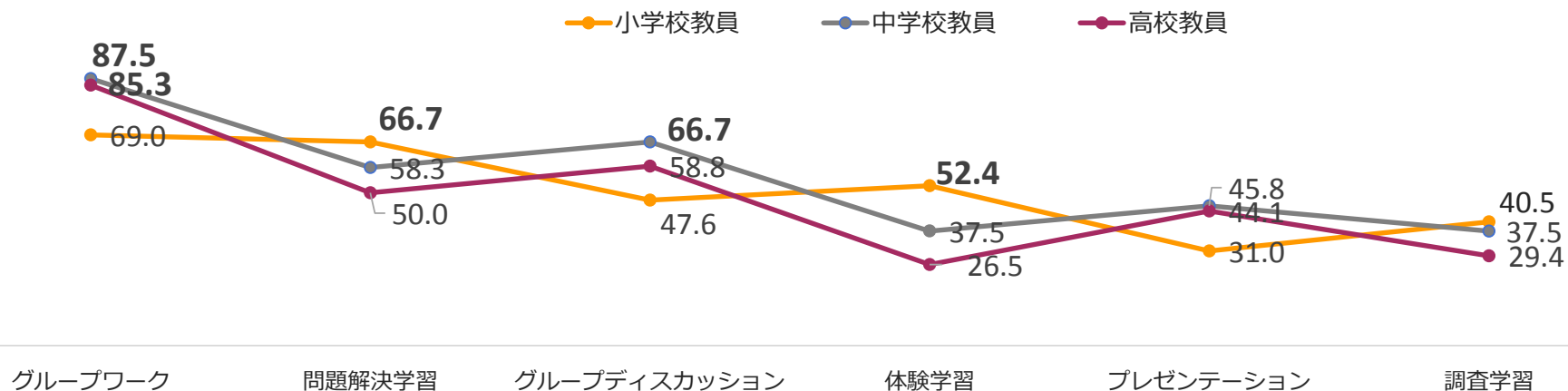
一部の学年の一部の科目（導入した学年）		回答者属性			
導入した学年	導入した科目名	性別	年齢	居住地域	職業
小学2年	道徳	女性	60歳	東京都	小学校教員
小学3年	算数	男性	39歳	東京都	小学校教員
小学3	国語・社会・総合など	男性	55歳	北海道	小学校教員
小学5, 6年	国語	男性	52歳	滋賀県	小学校教員
中学3年	社会科	男性	53歳	奈良県	中学校教員
中学1	国語	女性	42歳	北海道	中学校教員
中学2年	技術・家庭科	男性	52歳	徳島県	中学校教員
高校1年	保健	男性	52歳	新潟県	高校教員
高校2・3年	商品開発	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
高校3年	物理	男性	50歳	大阪府	高校教員
高校2年	地理	男性	43歳	栃木県	高校教員
高校1年	数学	男性	51歳	滋賀県	高校教員
高校3年生	現代社会	男性	37歳	兵庫県	高校教員

学年・科目の垣根を超えてアクティブラーニングが活用されている。

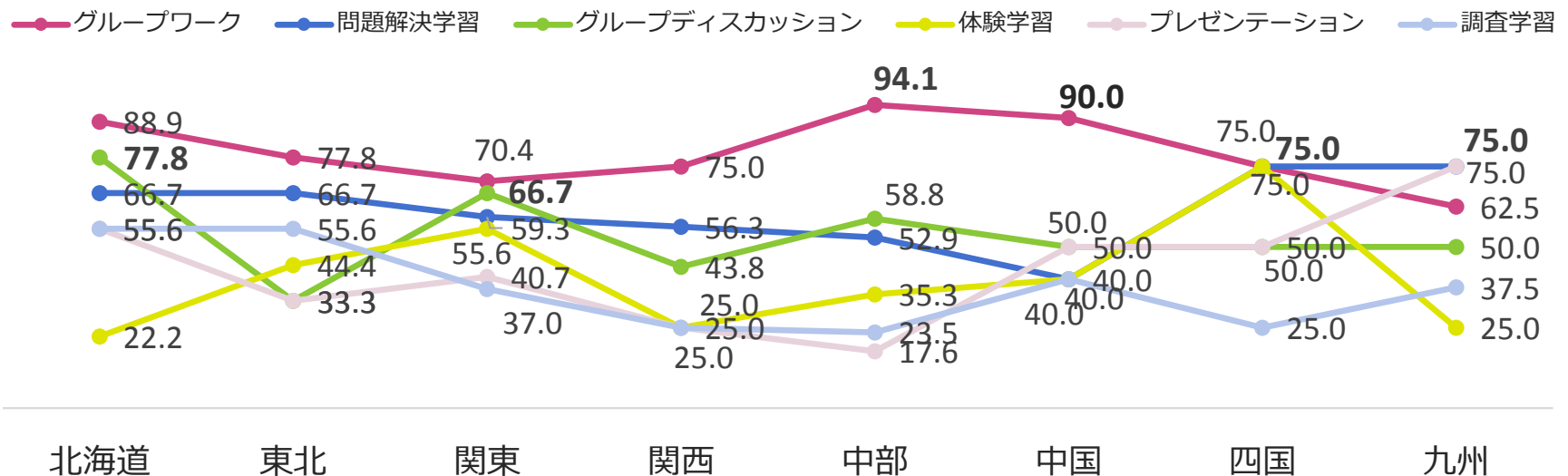
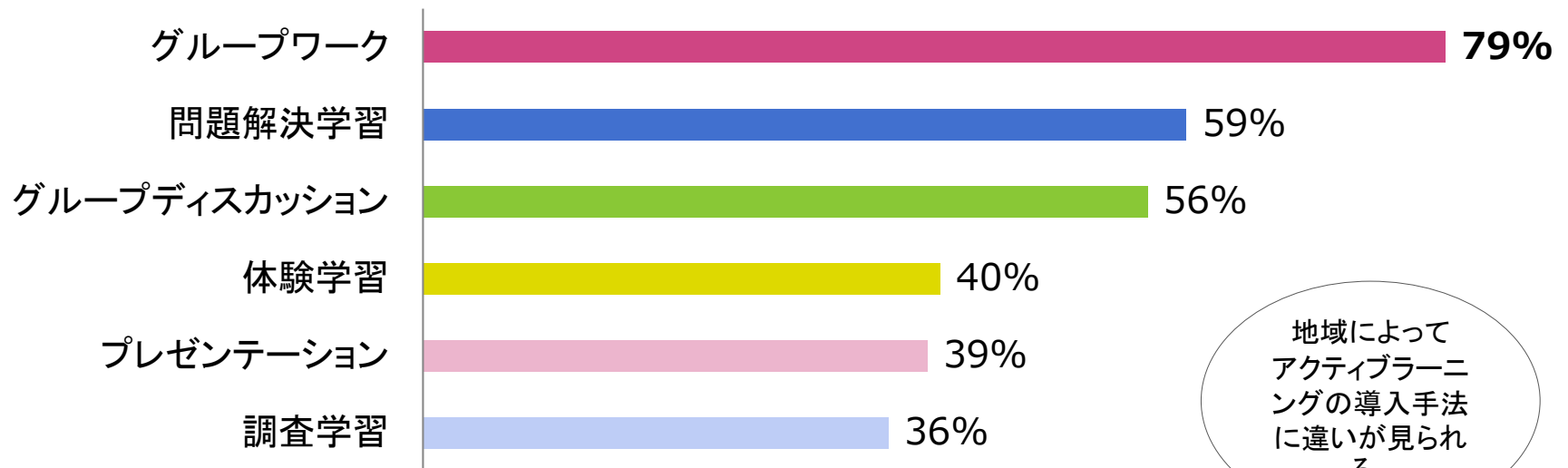
2. 主に導入しているアクティブラーニングの手法



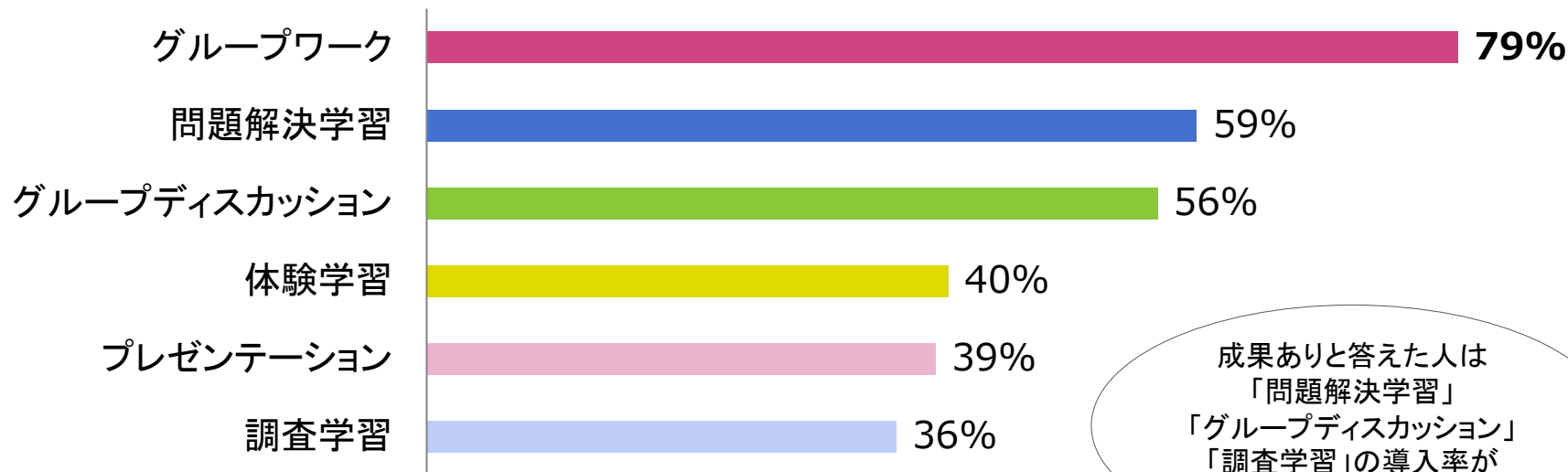
小学校では「問題解決学習」「体験学習」、
中・高校では「グループワーク」「ディスカッション」
の導入率が高い。



2. 主に導入しているアクティブラーニングの手法



2. 主に導入しているアクティブラーニングの手法

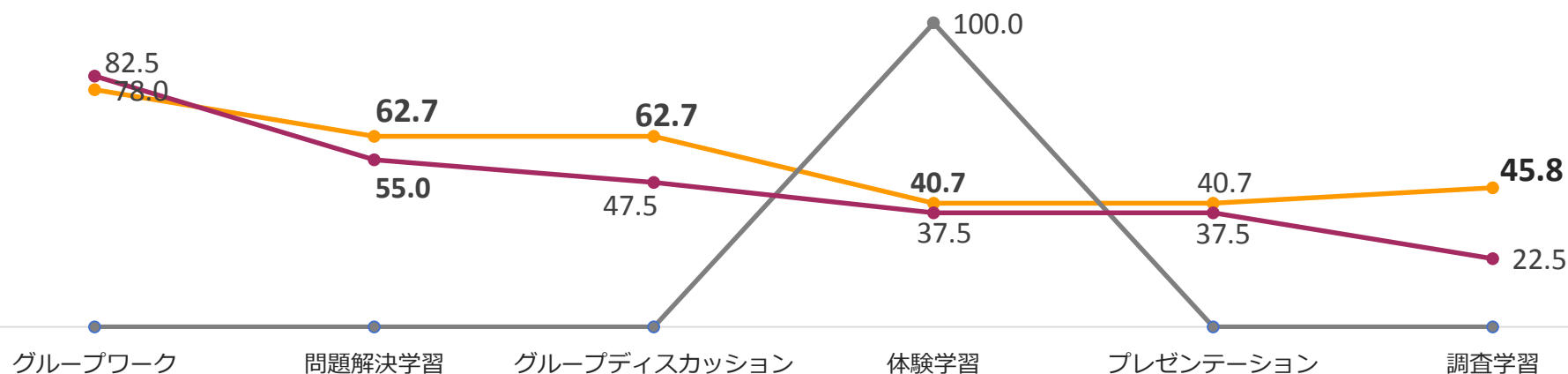


成果ありと答えた人は
「問題解決学習」
「グループディスカッション」
「調査学習」の導入率が
やや高め傾向。

—●— アクティブラーニング導入で成果あり

—●— 成果なし

—●— どちらともいえない



3. アクティブラーニングの具体的な実施内容

【小学校】

実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
考えを深める場面で、ペアやグループで話し合いをさせる。	女性	54歳	愛知県	小学校教員
学習した内容を活用して意見交換する時	男性	49歳	東京都	小学校教員
新しい計算の仕方や数量が出てきたときに、グループで解決方法を考えたり思いついた子が発表したりする。単元の導入や複数の解決方法があるときに実施する。	女性	52歳	東京都	小学校教員
授業の導入時の課題把握場面、考察場面、対話を促す場面、自分の考えを紹介する場面、発表する場面	男性	51歳	香川県	小学校教員
意見がでないときや、考えをたくさんだしてほしいとき	女性	34歳	群馬県	小学校教員
道徳に教科書の中から適切な単元を選び、自分だったらどう考えるかの立場を明確にして、その立場で賛成反対の意見を戦わせる	女性	60歳	東京都	小学校教員
算数・理科	男性	55歳	三重県	小学校教員
社会見学のとめを発表する。	男性	40歳	山口県	小学校教員
どの様にして、今の社会が成り立つか、議論してもらいます	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
授業過程の中、必ず子どもたち同士の話し合い活動を入れている	男性	42歳	長崎県	小学校教員
意見交換した方が効果的なとき	男性	45歳	東京都	小学校教員
調べ物をしたり、グループで調べたことを発表するときなど。	男性	55歳	北海道	小学校教員
社会科や理科、総合的な学習で問題解決学習を取り入れている。	女性	51歳	東京都	小学校教員
総合学習やまとめ、発表などの際	女性	38歳	愛知県	小学校教員
基礎を身につけた後、グループ発表の練習としてアクティブラーニングを行っている	女性	30歳	大阪府	小学校教員
どの授業でも意図的に使う。学年によるが特に総合的な学習や生活ではよく利用する	女性	37歳	東京都	小学校教員
算数のテーマ問題解決場面	男性	48歳	兵庫県	小学校教員

(アンケートから一部抜粋)

3. アクティブラーニングの具体的な実施内容

【中学校】

実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
生徒が主体的に課題を解決する場面を設定して、調べ学習や話し合いを行う。	男性	57歳	東京都	中学校教員
学習内容の発表 相互学習	男性	48歳	山梨県	中学校教員
総合的な学習の時間における課題解決学習とプレゼンテーション、音楽科における合唱の授業のパート練習から合唱の練り上げに至る過程。	女性	50歳	山形県	中学校教員
解答方法を考えるときに、一人では思いつかない生徒もいるために、グループの中で話し合いをして、解答方法を見つけ出す活動。また、一つの課題に対して、班で協力して解決する活動。話し合いや学びあいはほぼ、1時間の中で1回は実施している。	男性	50歳	石川県	中学校教員
毎時間何らかの形で入れるように努力している。	女性	27歳	滋賀県	中学校教員
課題について個人の意見を考えた後、グループによるまとめ活動	女性	58歳	群馬県	中学校教員
考える授業	女性	42歳	三重県	中学校教員
必要かつ有効と考えられるタイミングのすべてで。	男性	56歳	北海道	中学校教員
学校の研究テーマなので、全教科さまざまな場面で取り組んでいます	男性	41歳	北海道	中学校教員
歴史の流れから人物がどうすればよかったのかをグループ討議	男性	40歳	岡山県	中学校教員
大事なその日の目標文等を導入したあと、練習問題や課題に対してグループで取り組む。席もずっと班ごとに座っている。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
教科書の読解 学びの確認	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
情報の授業において、考えていることを発表するときに。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員
課題を提示し、自分で考えさせた後に話し合わせる。	男性	49歳	長野県	中学校教員

(アンケートから一部抜粋)

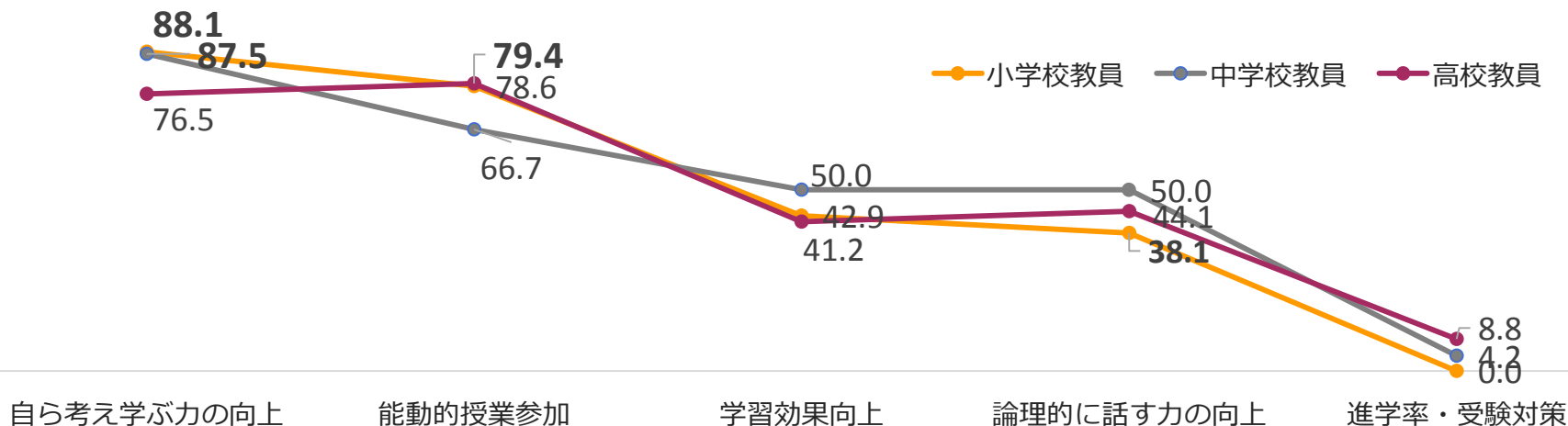
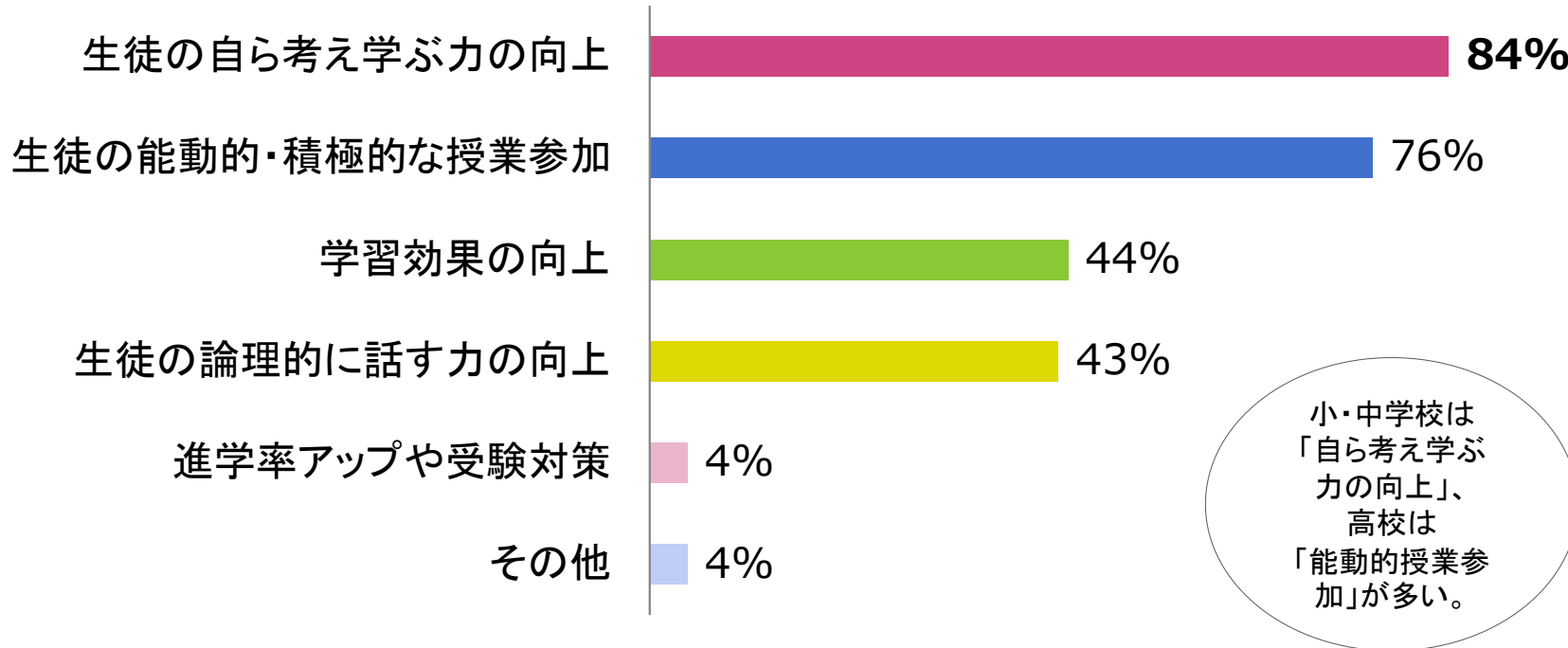
3. アクティブラーニングの具体的な実施内容

【高校】

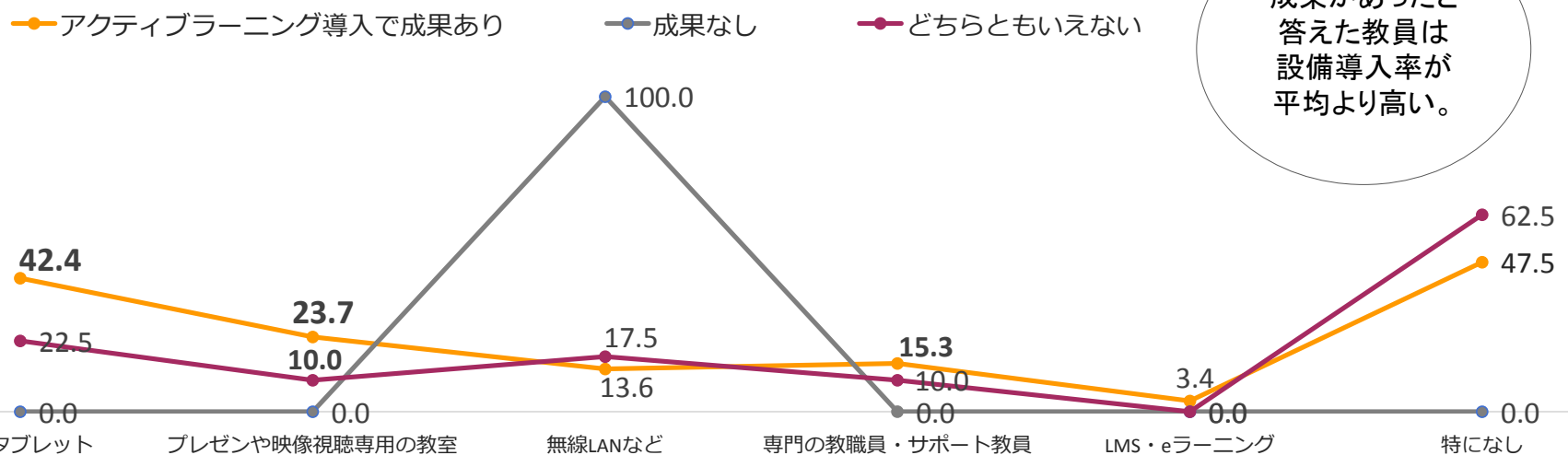
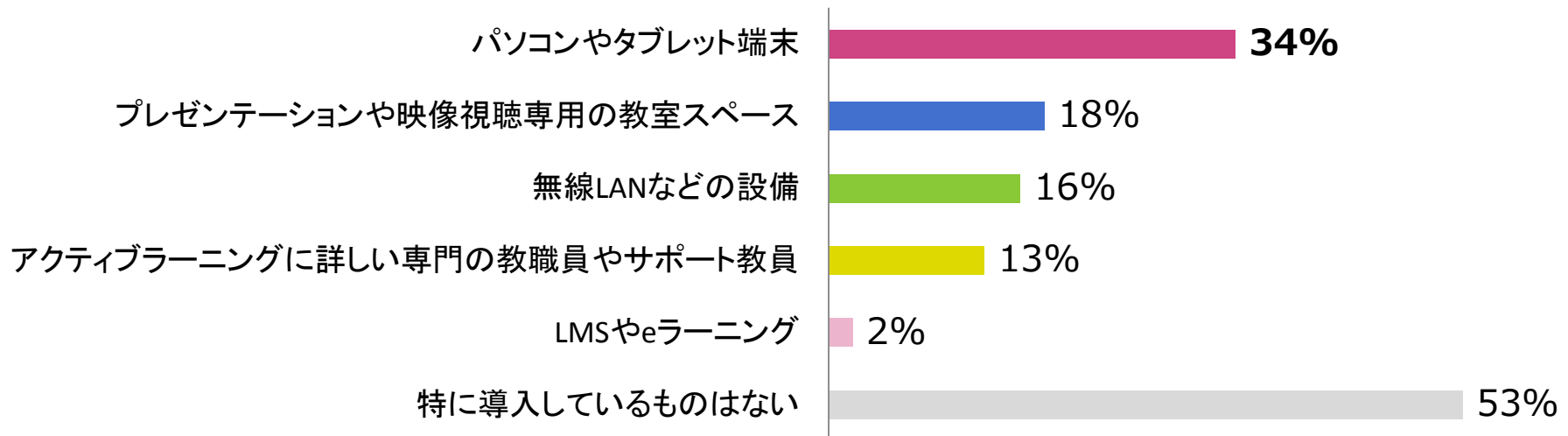
実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
一領域が終わるごとに、グループ討議やディベートを行い理解度を確認している。また一定期間調べ学習を行いプレゼンテーションによる発表をしている。	男性	60歳	岡山県	高校教員
機会があるごとに、生徒の発話を引き出したい時に。	男性	39歳	岩手県	高校教員
問題の解法をお互いに考えさせる	男性	50歳	大阪府	高校教員
生徒の体力測定データをExcelで分析評価する	男性	55歳	埼玉県	高校教員
単元で興味をもってもらうために導入で使う時もあれば、授業全体で使う場合もある。	女性	33歳	北海道	高校教員
最初はペアでその後グループワークを取り入れている	男性	34歳	新潟県	高校教員
説明後の班活動を30分程度	男性	51歳	熊本県	高校教員
ほぼ毎時間	男性	39歳	岐阜県	高校教員
教科書の内容が終わったタイミングで教科書の理解を深めるために	男性	42歳	東京都	高校教員
体験することが効果的だと考えられる場面	男性	45歳	鳥取県	高校教員
テーマをより掘り下げて学んだり、修学旅行前や学期のまとめ等	男性	41歳	東京都	高校教員
座学で知識を教えた後に実際に農場で実物を見せる。	男性	31歳	愛媛県	高校教員
単元の終わりごろにまとめとして	男性	52歳	新潟県	高校教員
主に導入部。	男性	42歳	山形県	高校教員
日常的に	男性	42歳	北海道	高校教員
総合学習の時間	男性	55歳	茨城県	高校教員
1時間ずつの場合もあるし、まとめに使うこともあるし、いろいろ。	男性	63歳	大阪府	高校教員
授業の中盤で、教師が問いを発し、その間の答えを考える際に実施している。	男性	51歳	岡山県	高校教員
問題演習において	男性	51歳	滋賀県	高校教員

(アンケートから一部抜粋)

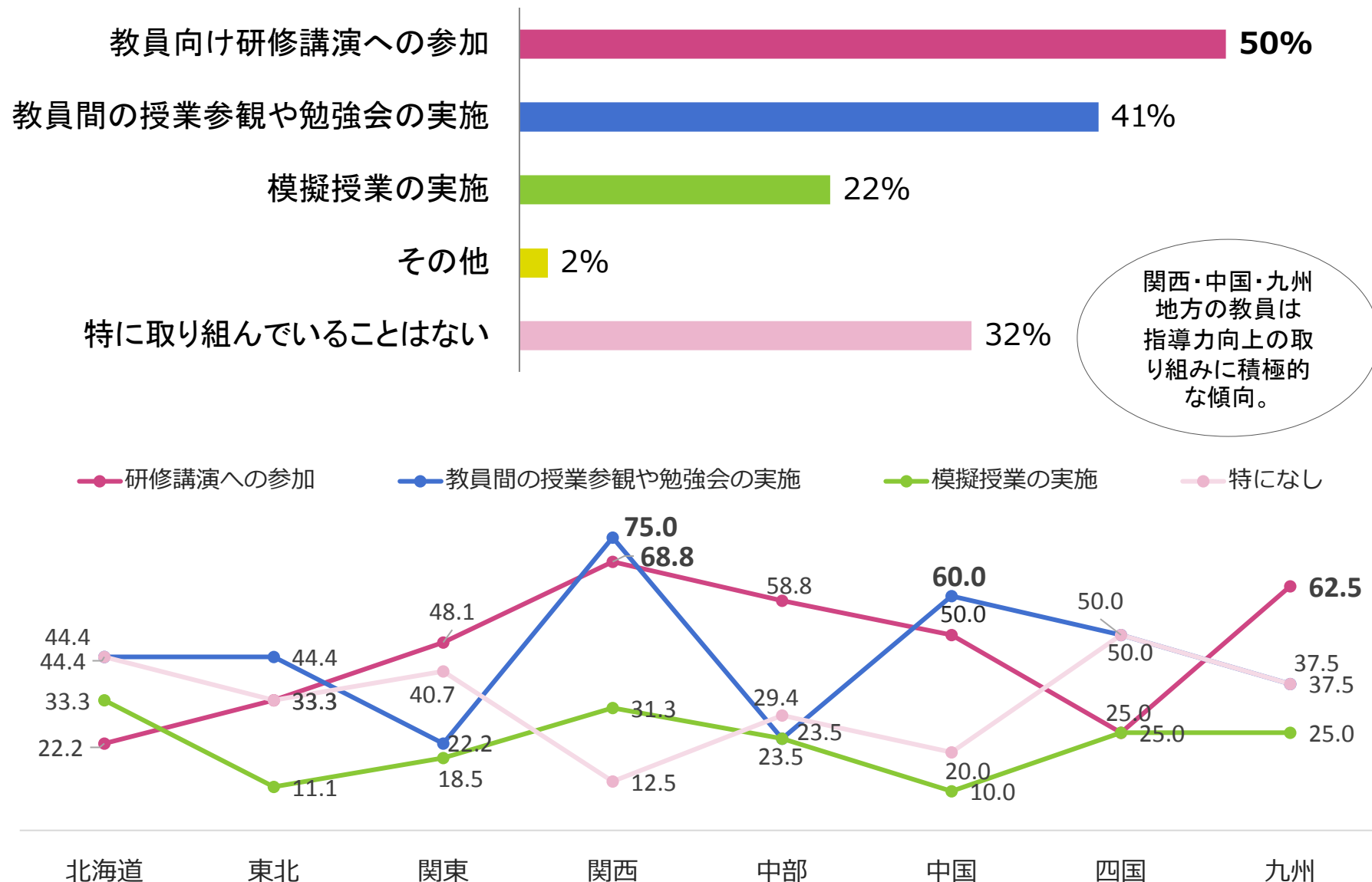
4. アクティブラーニングの導入目的



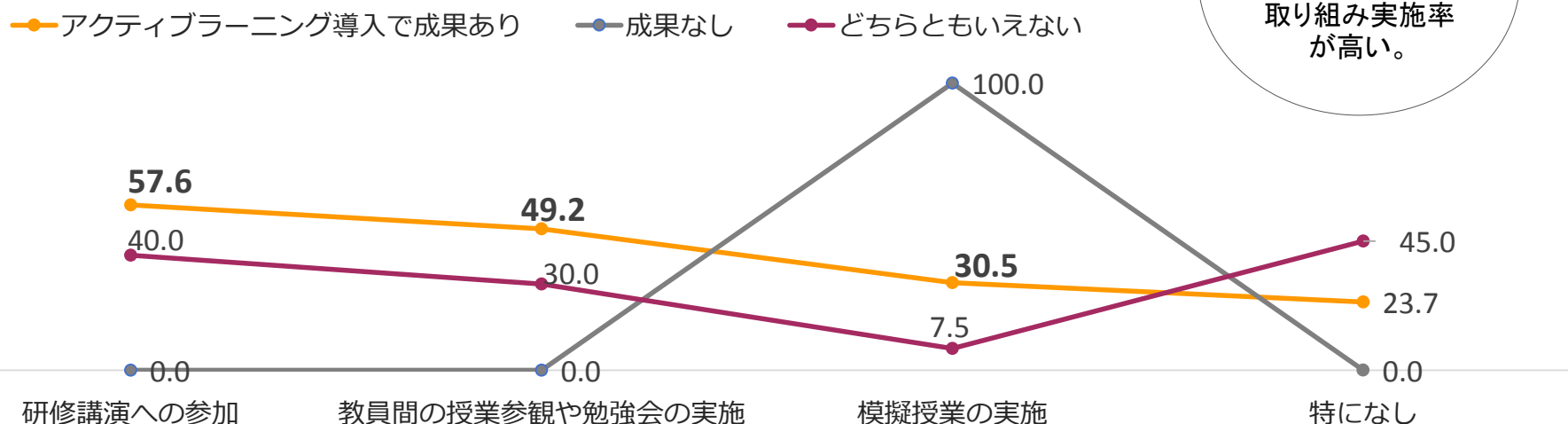
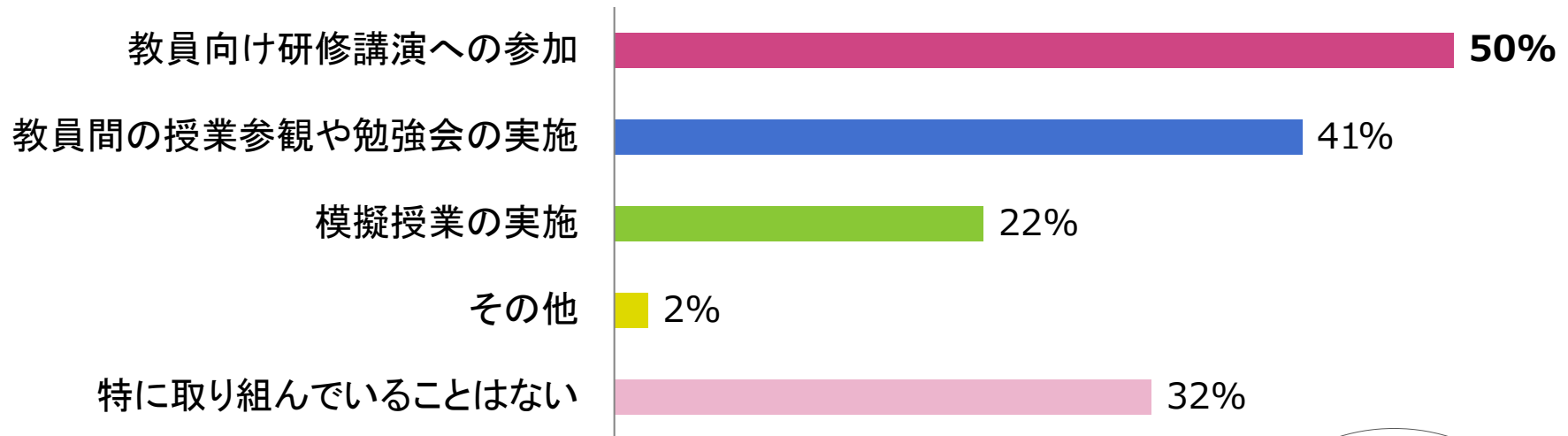
5. アクティブラーニング導入に際し行った環境整備・設備導入



6. アクティブラーニング導入に際し行った教員の指導力向上の取り組み

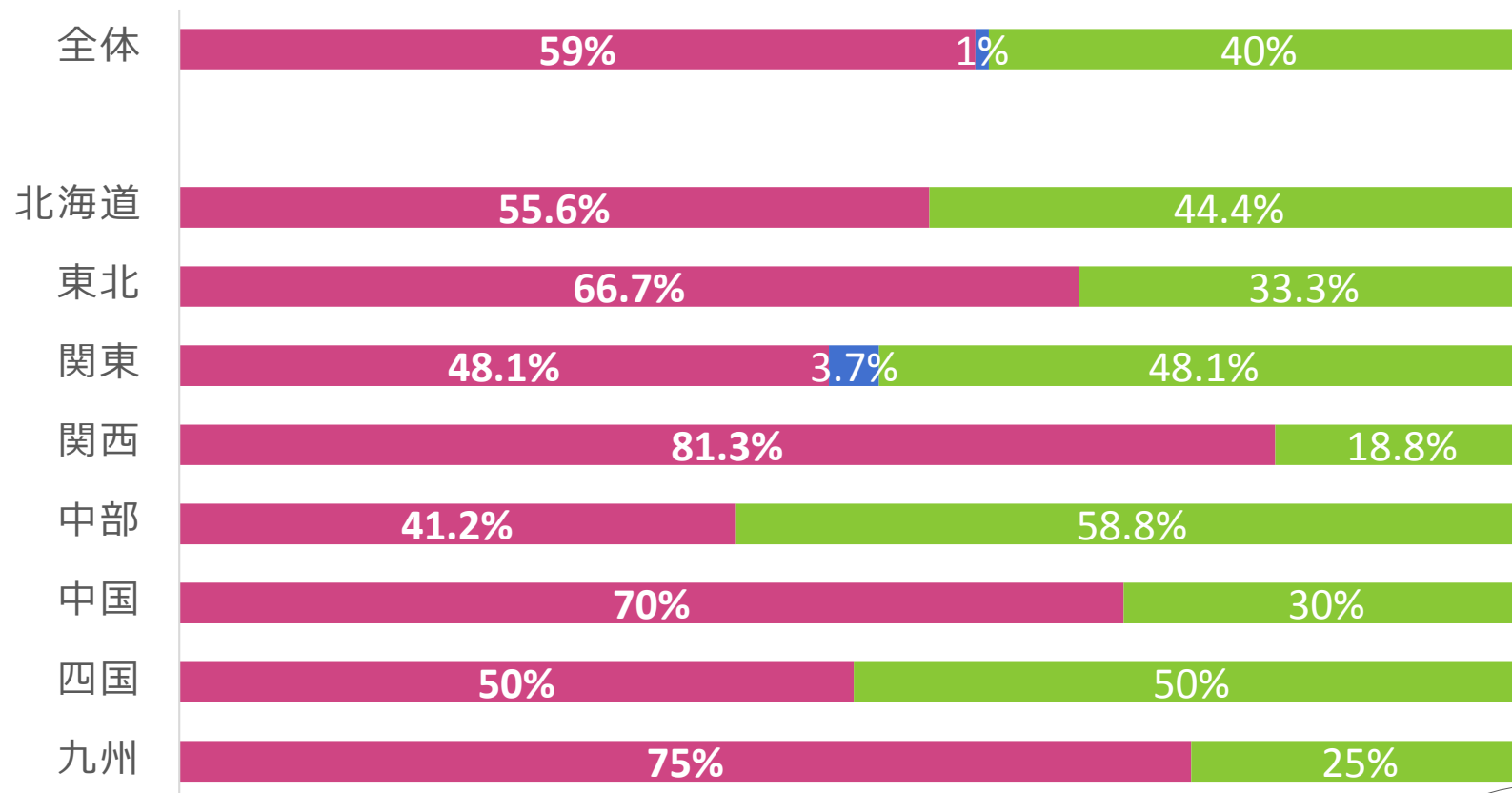


6. アクティブラーニング導入に際し行った教員の指導力向上の取り組み



7. 導入後、成果を実感したり授業・生徒の良い変化を感じたか

■ はい ■ いいえ ■ どちらともいえない



成果を実感して
いる教員は
関西・中国・
九州地方で
目立つ結果に。

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【小学校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
意見を聞くだけのお客さんのような生徒が減った。	女性	28歳	大阪府	小学校教員
協力したり支援し合ったり、他を思いやる姿が見られるようになった。	男性	52歳	岡山県	小学校教員
進んで学習するようになっている。	男性	42歳	長崎県	小学校教員
子どもたち同士で助け合って学習を深めている	女性	35歳	京都府	小学校教員
その時間の学習課題を多数の児童が明確にして学習に臨めるようになった	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
意欲的に調べて、それを発表しようとする態度が育った。	男性	55歳	北海道	小学校教員
ニュースに関心を持つ生徒が増えた。	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
交流への参加意欲、問題への意識、調査活動への意欲が高まった。	男性	59歳	福岡県	小学校教員
友達同士で助け合っていく姿が観察でき、お互いで学びあったことをシェアしていくことでさまざまな価値観をお互いで吸収していくことができた。	男性	35歳	神奈川県	小学校教員
学習スタイルの確立	男性	41歳	福島県	小学校教員
積極的になった	男性	31歳	神奈川県	小学校教員
道徳の「泣いた赤おに」で最後に青おにを選ぶか村人と仲良くしていくかお互い考えさせた	女性	60歳	東京都	小学校教員
新しいタイプの筆算の導入で、問題を与えて既習事項をもとに考えさせた。答えが2通り出たが、少数派の子どもが「たぶん僕のは違うと思うけれど、説明してもいいですか」といい、前に出て計算のプロセスを説明した。それに応えて他の子が「うまく行ったところ」と「違っていたところの説明」をしてくれた。	女性	52歳	東京都	小学校教員
自分たちの地域を調べることで郷土愛が育つ	女性	44歳	秋田県	小学校教員
算数で複雑な立体の体積を求める際、様々な立体の切り方があることを求める場面。	男性	38歳	新潟県	小学校教員

（アンケートから一部抜粋）

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【中学校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
能動的な活動によって、生徒の学習内容の理解度が高まった。	男性	56歳	北海道	中学校教員
授業の雰囲気が変わった	男性	48歳	兵庫県	中学校教員
発表の能力が上がった	男性	48歳	山梨県	中学校教員
自分なりに考える力が付いてきた。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員
寝る生徒やわからない生徒が減った	女性	42歳	三重県	中学校教員
主体的に学習に参加する生徒が多く見えた。	女性	32歳	茨城県	中学校教員
問題を解くときにお互いに話し合いながら解いていく。	男性	49歳	長野県	中学校教員
基本班ごとの生活にしている、生活班も学習もともにすることでお互い、切磋琢磨でき、わからない友達をサポートすることで教える方もチカラがつく。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
理科で『雲の作り方』を説明しようとした時に、4つのグループにヒントとなる知識をひとつずつ与え内容理解を深めた。その後、同じグループでなかったメンバーで新たなグループを組み、初めの活動で得たヒントを説明し、4つのヒント全てを組み合わせで問題解決にのぞんだ。	女性	37歳	鳥取県	中学校教員

（アンケートから一部抜粋）

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【高校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
受け身ではなくなった	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
主体性が身に付いた	男性	50歳	埼玉県	高校教員
思考力や表現力の向上	男性	46歳	岐阜県	高校教員
居眠りをしなくなった	男性	39歳	岩手県	高校教員
積極的な授業参加が見られるようになった。	男性	42歳	山形県	高校教員
情報の共有化ができるようになった	男性	37歳	兵庫県	高校教員
時間が早く進むとの反応が多い	男性	51歳	熊本県	高校教員
生徒がよく話すようになった	男性	52歳	新潟県	高校教員
余計な私語をする生徒が減った	男性	50歳	大阪府	高校教員
これまで、聞くことだけでおわっていた生徒も、授業に参加することにより、主体的に物事を考えるようになった。	男性	51歳	岡山県	高校教員
積極的に参加するし、発言する姿勢が見られる	男性	60歳	福岡県	高校教員
どちらかというと自ら進んで学習するという意欲に乏しい生徒集団であったが、導入後は積極的に意見を述べ、進んで活動しようとする態度が見られるようになった。またリーダー性も身についてきた生徒も見られた。	男性	60歳	岡山県	高校教員
デジタル教科書を使った、英単語や教科書の音読をグループでゲーム性をもたせて行う。	女性	33歳	北海道	高校教員
プレゼンの力が付く 目立たない生徒の力を引き出せる	男性	61歳	大阪府	高校教員
訪問看護の実施機関を生徒自身で調べ発表	女性	47歳	熊本県	高校教員
Excelを使ったデータの分析	男性	55歳	埼玉県	高校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【小学校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
多様な考えに出会えたこと	男性	38歳	新潟県	小学校教員
学習は自分たちで進めていくという意識の変化	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
黙ってはいけないという自覚が目覚めてきている。	女性	28歳	大阪府	小学校教員
教師主導でないため、さまざまな発想、方法が見られる。	女性	35歳	京都府	小学校教員
自分たちで学習を進めると意識が強まったため。	男性	59歳	福岡県	小学校教員
互いの見つけたよいところを共有	女性	23歳	東京都	小学校教員
普段の授業とは違う取組の中で、遊戯性を取り入れた点や積極的発言をさせていく中で、生徒の主体性を高め学ぶ意欲を高められた点。一番の要因は、生徒同士積極的に話し合う点である。	男性	35歳	神奈川県	小学校教員
主体性を持って学習に取り組んだから	男性	41歳	福島県	小学校教員
ピアサポート・協同学習が校内でパターン化されてきたから。	男性	52歳	岡山県	小学校教員
画像や映像によって視覚的に感じ取ることができること	男性	58歳	広島県	小学校教員
問題を自分で設定し解決する過程に学びが多かったのだ。	女性	51歳	東京都	小学校教員
分かる子供が力を発揮できる。理解の遅い子に支援できる。	女性	54歳	愛知県	小学校教員
考えがまとまらなくても、途中までしか説明できなくても、友だちがその続きを考えて解決すればいいという授業をしてきた。自分の考えを持つことの大切さがわかってきたので、自分の考えが間違っていると思っても、友だちに助けてもらおうとする気持ちが出てきたのだと思う。また、クラスの中に、間違えることをけなすような空気がなくなったのがよかったのだと思う。	女性	52歳	東京都	小学校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【中学校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
一人ひとりに役割を与え、全員が参加できるようにした。	女性	27歳	滋賀県	中学校教員
教員の意識改革	男性	48歳	兵庫県	中学校教員
聞いているだけでは授業が進まないの、自らやらざるを得ない状況が良かったと思う。	女性	32歳	茨城県	中学校教員
自分で考えさせること。答えは教えてもらえないと分かっているので、お互いに解決しあう。	男性	49歳	長野県	中学校教員
生徒の主体的な活動によって、学習活動が活性化された。	男性	56歳	北海道	中学校教員
教師が一律に教授するより、仲間で教え合う方が伝え合いやすい。	男性	53歳	奈良県	中学校教員
互いに教えあう場面	男性	41歳	北海道	中学校教員
教える側も教えられる側もチカラがつく。教える方は論理的に人にわかりやすく教えることで自分のチカラがつくことが顕著になった。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
皆が考える機会を持つ	女性	27歳	東京都	中学校教員
自分自身が理解できていないと教えることができない。よって、理解しようと高い意識をもって学習に取り組む生徒が増えた。	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
自分のやっていることが、ディスカッションで感じ取りやすくなったから。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【高校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
みんなの前で話さなければならぬ場面を作り出すから	男性	60歳	福岡県	高校教員
題材の精選と意見を引き出す展開	男性	60歳	岡山県	高校教員
だれでも参加できる難易度の設定。	男性	42歳	山形県	高校教員
グループ内で自分の役割ができるから	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
生徒が話すことで脳を使うようになった	男性	39歳	岩手県	高校教員
わかる生徒がわからない生徒へ伝えることで、やることのない生徒がいなくなったこと	男性	50歳	大阪府	高校教員
自分の考えを述べることになれてきて、根拠をもって意見を述べることの大切さを認識できたから	男性	51歳	岡山県	高校教員
自分に興味のあるテーマを設定させたから	男性	43歳	栃木県	高校教員
グループの中で全員に責任ある役割を与えた	男性	37歳	兵庫県	高校教員

（アンケートから一部抜粋）

クロス表 【小中高別】

1. アクティブラーニングの導入範囲

		全 体	全 学 年 ほ ぼ 全 教 科	全 学 年 の 一 部 の 科 目	一 部 の 学 年 の 全 科 目	科 一 目 部 の 学 年 の 一 部 の
全 体		100 100.0	61 61.0	21 21.0	5 5.0	13 13.0
小 中 高 別	小学校教員	42 100.0	24 57.1	13 31.0	1 2.4	4 9.5
	中学校教員	24 100.0	17 70.8	3 12.5	1 4.2	3 12.5
	高校教員	34 100.0	20 58.8	5 14.7	3 8.8	6 17.6

小・中学校は
全学年で取り
入れている率
が高い。

1-1. 「全学年の一部の科目」の内訳（導入した科目名）

全学年の一部の科目（導入した科目名）	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
算数	男性	55歳	三重県	小学校教員
社会科、総合	男性	45歳	北海道	小学校教員
社会	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
国語、算数	男性	45歳	東京都	小学校教員
算数	男性	53歳	秋田県	小学校教員
算数、理科、国語、社会科、道徳	女性	52歳	東京都	小学校教員
算数、国語、体育、生活	女性	35歳	京都府	小学校教員
算数、理科	男性	48歳	広島県	小学校教員
音楽	女性	30歳	大阪府	小学校教員
生活科、総合的な学習	男性	59歳	福岡県	小学校教員
道徳	男性	51歳	東京都	小学校教員
単元による	男性	31歳	神奈川県	小学校教員
算数	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
総合学習、日本語	女性	46歳	東京都	中学校教員
国語	男性	41歳	北海道	中学校教員
理科	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
体育	男性	54歳	長野県	高校教員
数学、物理	男性	60歳	福岡県	高校教員
英語、国語、社会	男性	41歳	東京都	高校教員
コミュニケーション英語Ⅱ	男性	42歳	山形県	高校教員
社会	男性	30歳	福岡県	高校教員

1-2. 「一部の学年の全科目」の内訳（導入した学年）

一部の学年の全科目（導入した学年）	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
高校2年	男性	39歳	岐阜県	高校教員
高校3年	男性	31歳	愛媛県	高校教員

1-3. 「一部の学年の一部の科目」の内訳（導入した学年・科目名）

一部の学年の一部の科目（導入した学年）		回答者属性			
導入した学年	導入した科目名	性別	年齢	居住地域	職業
小学2年	道徳	女性	60歳	東京都	小学校教員
小学3年	算数	男性	39歳	東京都	小学校教員
小学3	国語・社会・総合など	男性	55歳	北海道	小学校教員
小学5, 6年	国語	男性	52歳	滋賀県	小学校教員
中学3年	社会科	男性	53歳	奈良県	中学校教員
中学1	国語	女性	42歳	北海道	中学校教員
中学2年	技術・家庭科	男性	52歳	徳島県	中学校教員
高校1年	保健	男性	52歳	新潟県	高校教員
高校2・3年	商品開発	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
高校3年	物理	男性	50歳	大阪府	高校教員
高校2年	地理	男性	43歳	栃木県	高校教員
高校1年	数学	男性	51歳	滋賀県	高校教員
高校3年生	現代社会	男性	37歳	兵庫県	高校教員

学年・科目の垣根を超えてアクティブラーニングが活用されている。

2. 主に導入しているアクティブラーニングの手法

		全 体	グ ル ー プ ワ ー ク	問 題 解 決 学 習	シ ョ ン グ ル ー プ デ ィ ス カ ッ シ ョ ン	体 験 学 習	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	調 査 学 習
全 体		100 100.0	79 79.0	59 59.0	56 56.0	40 40.0	39 39.0	36 36.0
小 中 高 別	小学校教員	42 100.0	29 69.0	28 66.7	20 47.6	22 52.4	13 31.0	17 40.5
	中学校教員	24 100.0	21 87.5	14 58.3	16 66.7	9 37.5	11 45.8	9 37.5
	高校教員	34 100.0	29 85.3	17 50.0	20 58.8	9 26.5	15 44.1	10 29.4

小学校では「問題解決
学習」「体験学習」、
中・高校では「グループ
ワーク」「ディスカッション」
の導入率が高い。

3. アクティブラーニングの具体的な実施方法

【小学校】

実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
考えを深める場面で、ペアやグループで話し合いをさせる。	女性	54歳	愛知県	小学校教員
学習した内容を活用して意見交換する時	男性	49歳	東京都	小学校教員
新しい計算の仕方や数量が出てきたときに、グループで解決方法を考えたり思いついた子が発表したりする。単元の導入や複数の解決方法があるときに実施する。	女性	52歳	東京都	小学校教員
授業の導入時の課題把握場面、考察場面、対話を促す場面、自分の考えを紹介する場面、発表する場面	男性	51歳	香川県	小学校教員
意見がでないときや、考えをたくさんだしてほしいとき	女性	34歳	群馬県	小学校教員
道徳に教科書の中から適切な単元を選び、自分だったらどう考えるかの立場を明確にして、その立場で賛成反対の意見を戦わせる	女性	60歳	東京都	小学校教員
算数・理科	男性	55歳	三重県	小学校教員
社会見学のとめを発表する。	男性	40歳	山口県	小学校教員
どの様にして、今の社会が成り立つか、議論してもらいます	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
授業過程の中、必ず子どもたち同士の話し合い活動を入れている	男性	42歳	長崎県	小学校教員
意見交換した方が効果的なとき	男性	45歳	東京都	小学校教員
調べ物をしたり、グループで調べたことを発表するときなど。	男性	55歳	北海道	小学校教員
社会科や理科、総合的な学習で問題解決学習を取り入れている。	女性	51歳	東京都	小学校教員
総合学習やまとめ、発表などの際	女性	38歳	愛知県	小学校教員
基礎を身につけた後、グループ発表の練習としてアクティブラーニングを行っている	女性	30歳	大阪府	小学校教員
どの授業でも意図的に使う。学年によるが特に総合的な学習や生活ではよく利用する	女性	37歳	東京都	小学校教員
算数のテーマ問題解決場面	男性	48歳	兵庫県	小学校教員

(アンケートから一部抜粋)

3. アクティブラーニングの具体的な実施方法

【中学校】

実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
生徒が主体的に課題を解決する場面を設定して、調べ学習や話し合いを行う。	男性	57歳	東京都	中学校教員
学習内容の発表 相互学習	男性	48歳	山梨県	中学校教員
総合的な学習の時間における課題解決学習とプレゼンテーション、音楽科における合唱の授業のパート練習から合唱の練り上げに至る過程。	女性	50歳	山形県	中学校教員
解答方法を考えるときに、一人では思いつかない生徒もいるために、グループの中で話し合いをして、解答方法を見つけ出す活動。また、一つの課題に対して、班で協力して解決する活動。話し合いや学びあいはほぼ、1時間の中で1回は実施している。	男性	50歳	石川県	中学校教員
毎時間何らかの形で入れるように努力している。	女性	27歳	滋賀県	中学校教員
課題について個人の意見を考えた後、グループによるまとめ活動	女性	58歳	群馬県	中学校教員
考える授業	女性	42歳	三重県	中学校教員
必要かつ有効と考えられるタイミングのすべてで。	男性	56歳	北海道	中学校教員
学校の研究テーマなので、全教科さまざまな場面で取り組んでいます	男性	41歳	北海道	中学校教員
歴史の流れから人物がどうすればよかったのかをグループ討議	男性	40歳	岡山県	中学校教員
大事なその日の目標文等を導入したあと、練習問題や課題に対してグループで取り組む。席もずっと班ごとに座っている。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
教科書の読解 学びの確認	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
情報の授業において、考えていることを発表するときに。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員
課題を提示し、自分で考えさせた後に話し合わせる。	男性	49歳	長野県	中学校教員

(アンケートから一部抜粋)

3. アクティブラーニングの具体的な実施方法

【高校】

実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
一領域が終わるごとに、グループ討議やディベートを行い理解度を確認している。また一定期間調べ学習を行いプレゼンテーションによる発表をしている。	男性	60歳	岡山県	高校教員
機会があるごとに、生徒の発話を引き出したい時に。	男性	39歳	岩手県	高校教員
問題の解法をお互いに考えさせる	男性	50歳	大阪府	高校教員
生徒の体力測定データをExcelで分析評価する	男性	55歳	埼玉県	高校教員
単元で興味をもってもらうために導入で使う時もあれば、授業全体で使う場合もある。	女性	33歳	北海道	高校教員
最初はペアでその後グループワークを取り入れている	男性	34歳	新潟県	高校教員
説明後の班活動を30分程度	男性	51歳	熊本県	高校教員
ほぼ毎時間	男性	39歳	岐阜県	高校教員
教科書の内容が終わったタイミングで教科書の理解を深めるために	男性	42歳	東京都	高校教員
体験することが効果的だと考えられる場面	男性	45歳	鳥取県	高校教員
テーマをより掘り下げて学んだり、修学旅行前や学期のまとめ等	男性	41歳	東京都	高校教員
座学で知識を教えた後に実際に農場で実物を見せる。	男性	31歳	愛媛県	高校教員
単元の終わりごろにまとめとして	男性	52歳	新潟県	高校教員
主に導入部。	男性	42歳	山形県	高校教員
日常的に	男性	42歳	北海道	高校教員
総合学習の時間	男性	55歳	茨城県	高校教員
1時間ずつの場合もあるし、まとめに使うこともあるし、いろいろ。	男性	63歳	大阪府	高校教員
授業の中盤で、教師が問いを発し、その間の答えを考える際に実施している。	男性	51歳	岡山県	高校教員
問題演習において	男性	51歳	滋賀県	高校教員

(アンケートから一部抜粋)

4. アクティブラーニングの実施目的

		全 体	生徒の 向上	生徒の 積極的な 授業参加	学習 効果の 向上	生徒の 向上論 理的に 話す	進学 率ア ップ や	そ の 他
全 体		100 100.0	84 84.0	76 76.0	44 44.0	43 43.0	4 4.0	4 4.0
小 中 高 別	小学校教員	42 100.0	37 88.1	33 78.6	18 42.9	16 38.1	- -	2 4.8
	中学校教員	24 100.0	21 87.5	16 66.7	12 50.0	12 50.0	1 4.2	1 4.2
	高校教員	34 100.0	26 76.5	27 79.4	14 41.2	15 44.1	3 8.8	1 2.9

小・中学校は
「自ら考え学ぶ
力の向上」、
高校は
「能動的授業参
加」が多い。

5. アクティブラーニング導入に際し行った環境整備・設備導入

		全 体	端 末 ソ コ ン ヤ タ ブ レ ッ ト	室 映 ス ペ ー ス	プ レ ゼ ン テ ー シ ヨ ン や	無 線 L A N な ど の 設 備	や に ア ク テ ィ ブ ラ ー ニ ン グ	L M S や e ラ ー ニ ン グ	そ の 他	は な い 導 入 し て い る も の
全 体		100 100.0	34 34.0	18 18.0	16 16.0	13 13.0	2 2.0	2 2.0	53 53.0	
小 中 高 別	小学校教員	42 100.0	15 35.7	4 9.5	7 16.7	5 11.9	- -	1 2.4	25 59.5	
	中学校教員	24 100.0	8 33.3	5 20.8	3 12.5	3 12.5	- -	1 4.2	11 45.8	
	高校教員	34 100.0	11 32.4	9 26.5	6 17.6	5 14.7	2 5.9	- -	17 50.0	

6. アクティブラーニング導入に際し行った教員の指導力向上の取り組み

		全 体	へ 教 の 員 参 加 向 け 研 修 講 演	や 教 勉 員 強 間 会 の 授 業 実 施 参 観	模 擬 授 業 の 実 施	そ の 他	る 特 こ に と 取 は り な 組 い ん で い
全 体		100 100.0	50 50.0	41 41.0	22 22.0	2 2.0	32 32.0
小 中 高 別	小学校教員	42 100.0	22 52.4	16 38.1	10 23.8	2 4.8	14 33.3
	中学校教員	24 100.0	9 37.5	12 50.0	6 25.0	- -	8 33.3
	高校教員	34 100.0	19 55.9	13 38.2	6 17.6	- -	10 29.4

7. 導入後、成果を実感したり授業・生徒の良い変化を感じたか

		全 体	は い	い い え	い え な い ど ち ら と も
全 体		100 100.0	59 59.0	1 1.0	40 40.0
小 中 高 別	小学校教員	42 100.0	26 61.9	- -	16 38.1
	中学校教員	24 100.0	14 58.3	1 4.2	9 37.5
	高校教員	34 100.0	19 55.9	- -	15 44.1

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【小学校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
意見を聞くだけのお客さんのような生徒が減った。	女性	28歳	大阪府	小学校教員
協力したり支援し合ったり、他を思いやる姿が見られるようになった。	男性	52歳	岡山県	小学校教員
進んで学習するようになっている。	男性	42歳	長崎県	小学校教員
子どもたち同士で助け合って学習を深めている	女性	35歳	京都府	小学校教員
その時間の学習課題を多数の児童が明確にして学習に臨めるようになった	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
意欲的に調べて、それを発表しようとする態度が育った。	男性	55歳	北海道	小学校教員
ニュースに関心を持つ生徒が増えた。	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
交流への参加意欲、問題への意識、調査活動への意欲が高まった。	男性	59歳	福岡県	小学校教員
友達同士で助け合っていく姿が観察でき、お互いで学びあったことをシェアしていくことでさまざまな価値観をお互いで吸収していくことができた。	男性	35歳	神奈川県	小学校教員
学習スタイルの確立	男性	41歳	福島県	小学校教員
積極的になった	男性	31歳	神奈川県	小学校教員
道徳の「泣いた赤おに」で最後に青おにを選ぶか村人と仲良くしていくかお互い考えさせた	女性	60歳	東京都	小学校教員
新しいタイプの筆算の導入で、問題を与えて既習事項をもとに考えさせた。答えが2通り出たが、少数派の子どもが「たぶん僕のは違うと思うけれど、説明してもいいですか」といい、前に出て計算のプロセスを説明した。それに応えて他の子が「うまく行ったところ」と「違っていたところの説明」をしてくれた。	女性	52歳	東京都	小学校教員
自分たちの地域を調べることで郷土愛が育つ	女性	44歳	秋田県	小学校教員
算数で複雑な立体の体積を求める際、様々な立体の切り方があることを求める場面。	男性	38歳	新潟県	小学校教員

（アンケートから一部抜粋）

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【中学校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
能動的な活動によって、生徒の学習内容の理解度が高まった。	男性	56歳	北海道	中学校教員
授業の雰囲気が変わった	男性	48歳	兵庫県	中学校教員
発表の能力が上がった	男性	48歳	山梨県	中学校教員
自分なりに考える力が付いてきた。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員
寝る生徒やわからない生徒が減った	女性	42歳	三重県	中学校教員
主体的に学習に参加する生徒が多く見えた。	女性	32歳	茨城県	中学校教員
問題を解くときにお互いに話し合いながら解いていく。	男性	49歳	長野県	中学校教員
基本班ごとの生活にしている、生活班も学習もともにすることでお互い、切磋琢磨でき、わからない友達をサポートすることで教える方もチカラがつく。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
理科で『雲のでき方』を説明しようとした時に、4つのグループにヒントとなる知識をひとつずつ与え内容理解を深めた。その後、同じグループでなかったメンバーで新たなグループを組み、初めの活動で得たヒントを説明し、4つのヒント全てを組み合わせで問題解決にのぞんだ。	女性	37歳	鳥取県	中学校教員

（アンケートから一部抜粋）

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【高校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
受け身ではなくなった	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
主体性が身に付いた	男性	50歳	埼玉県	高校教員
思考力や表現力の向上	男性	46歳	岐阜県	高校教員
居眠りをしなくなった	男性	39歳	岩手県	高校教員
積極的な授業参加が見られるようになった。	男性	42歳	山形県	高校教員
情報の共有化ができるようになった	男性	37歳	兵庫県	高校教員
時間が早く進むとの反応が多い	男性	51歳	熊本県	高校教員
生徒がよく話すようになった	男性	52歳	新潟県	高校教員
余計な私語をする生徒が減った	男性	50歳	大阪府	高校教員
これまで、聞くことだけでおわっていた生徒も、授業に参加することにより、主体的に物事を考えるようになった。	男性	51歳	岡山県	高校教員
積極的に参加するし、発言する姿勢が見られる	男性	60歳	福岡県	高校教員
どちらかというと自ら進んで学習するという意欲に乏しい生徒集団であったが、導入後は積極的に意見を述べ、進んで活動しようとする態度が見られるようになった。またリーダー性も身についてきた生徒も見られた。	男性	60歳	岡山県	高校教員
デジタル教科書を使った、英単語や教科書の音読をグループでゲーム性をもたせて行う。	女性	33歳	北海道	高校教員
プレゼンの力が付く 目立たない生徒の力を引き出せる	男性	61歳	大阪府	高校教員
訪問看護の実施機関を生徒自身で調べ発表	女性	47歳	熊本県	高校教員
Excelを使ったデータの分析	男性	55歳	埼玉県	高校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【小学校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
多様な考えに出会えたこと	男性	38歳	新潟県	小学校教員
学習は自分たちで進めていくという意識の変化	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
黙ってはいけないという自覚が目覚めてきている。	女性	28歳	大阪府	小学校教員
教師主導でないため、さまざまな発想、方法が見られる。	女性	35歳	京都府	小学校教員
自分たちで学習を進めるという意識が強まったため。	男性	59歳	福岡県	小学校教員
互いの見つけたよいところを共有	女性	23歳	東京都	小学校教員
普段の授業とは違う取組の中で、遊戯性を取り入れた点や積極的発言をさせていく中で、生徒の主体性を高め学ぶ意欲を高められた点。一番の要因は、生徒同士積極的に話し合う点である。	男性	35歳	神奈川県	小学校教員
主体性を持って学習に取り組んだから	男性	41歳	福島県	小学校教員
ピアサポート・協同学習が校内でパターン化されてきたから。	男性	52歳	岡山県	小学校教員
画像や映像によって視覚的に感じ取ることができること	男性	58歳	広島県	小学校教員
問題を自分で設定し解決する過程に学びが多かったのだ。	女性	51歳	東京都	小学校教員
分かる子供が力を発揮できる。理解の遅い子に支援できる。	女性	54歳	愛知県	小学校教員
考えがまとまらなくても、途中までしか説明できなくても、友だちがその続きを考えて解決すればいいという授業をしてきた。自分の考えを持つことの大切さがわかってきたので、自分の考えが間違っていると思っても、友だちに助けてもらおうとする気持ちが出てきたのだと思う。また、クラスの中に、間違えることをけなすような空気がなくなったのがよかったのだと思う。	女性	52歳	東京都	小学校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【中学校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
一人ひとりに役割を与え、全員が参加できるようにした。	女性	27歳	滋賀県	中学校教員
教員の意識改革	男性	48歳	兵庫県	中学校教員
聞いているだけでは授業が進まないの、自らやらざるを得ない状況が良かったと思う。	女性	32歳	茨城県	中学校教員
自分で考えさせること。答えは教えてもらえないと分かっているので、お互いに解決しあう。	男性	49歳	長野県	中学校教員
生徒の主体的な活動によって、学習活動が活性化された。	男性	56歳	北海道	中学校教員
教師が一律に教授するより、仲間で教え合う方が伝え合いやすい。	男性	53歳	奈良県	中学校教員
互いに教えあう場面	男性	41歳	北海道	中学校教員
教える側も教えられる側もチカラがつく。教える方は論理的に人にわかりやすく教えることで自分のチカラがつくことが顕著になった。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
皆が考える機会を持つ	女性	27歳	東京都	中学校教員
自分自身が理解できていないと教えることができない。よって、理解しようと高い意識をもって学習に取り組む生徒が増えた。	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
自分のやっていることが、ディスカッションで感じ取りやすくなったから。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【高校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
みんなの前で話さなければならぬ場面を作り出すから	男性	60歳	福岡県	高校教員
題材の精選と意見を引き出す展開	男性	60歳	岡山県	高校教員
だれでも参加できる難易度の設定。	男性	42歳	山形県	高校教員
グループ内で自分の役割ができるから	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
生徒が話すことで脳を使うようになった	男性	39歳	岩手県	高校教員
わかる生徒がわからない生徒へ伝えることで、やることのない生徒がいなくなったこと	男性	50歳	大阪府	高校教員
自分の考えを述べることになれてきて、根拠をもって意見を述べることの大切さを認識できたから	男性	51歳	岡山県	高校教員
自分に興味のあるテーマを設定させたから	男性	43歳	栃木県	高校教員
グループの中で全員に責任ある役割を与えた	男性	37歳	兵庫県	高校教員

（アンケートから一部抜粋）

クロス表 【地域別】

1. アクティブラーニングの導入範囲

		全 体	全 教 科 年 ほ ぼ	一 部 の 年 の 目	全 科 目 の 学 年 の	一 部 の 学 年 の
全 体		100 100.0	61 61.0	21 21.0	5 5.0	13 13.0
地 域 別	北海道	9 100.0	5 55.6	2 22.2	- -	2 22.2
	東北	9 100.0	6 66.7	2 22.2	1 11.1	- -
	関東	27 100.0	18 66.7	6 22.2	- -	3 11.1
	関西	16 100.0	6 37.5	4 25.0	1 6.3	5 31.3
	中部	17 100.0	13 76.5	2 11.8	1 5.9	1 5.9
	中国	10 100.0	8 80.0	2 20.0	- -	- -
	四国	4 100.0	2 50.0	- -	1 25.0	1 25.0
	九州	8 100.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5

1-1. 「全学年の一部の科目」の内訳（導入した科目名）

全学年の一部の科目（導入した科目名）	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
算数	男性	55歳	三重県	小学校教員
社会科、総合	男性	45歳	北海道	小学校教員
社会	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
国語、算数	男性	45歳	東京都	小学校教員
算数	男性	53歳	秋田県	小学校教員
算数、理科、国語、社会科、道徳	女性	52歳	東京都	小学校教員
算数、国語、体育、生活	女性	35歳	京都府	小学校教員
算数、理科	男性	48歳	広島県	小学校教員
音楽	女性	30歳	大阪府	小学校教員
生活科、総合的な学習	男性	59歳	福岡県	小学校教員
道徳	男性	51歳	東京都	小学校教員
単元による	男性	31歳	神奈川県	小学校教員
算数	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
総合学習、日本語	女性	46歳	東京都	中学校教員
国語	男性	41歳	北海道	中学校教員
理科	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
体育	男性	54歳	長野県	高校教員
数学、物理	男性	60歳	福岡県	高校教員
英語、国語、社会	男性	41歳	東京都	高校教員
コミュニケーション英語Ⅱ	男性	42歳	山形県	高校教員
社会	男性	30歳	福岡県	高校教員

1 - 2. 「一部の学年の全科目」の内訳（導入した学年）

一部の学年の全科目（導入した学年）	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
高校2年	男性	39歳	岐阜県	高校教員
高校3年	男性	31歳	愛媛県	高校教員

1-3. 「一部の学年の一部の科目」の内訳（導入した学年・科目名）

一部の学年の一部の科目（導入した学年）		回答者属性			
導入した学年	導入した科目名	性別	年齢	居住地域	職業
小学2年	道徳	女性	60歳	東京都	小学校教員
小学3年	算数	男性	39歳	東京都	小学校教員
小学3	国語・社会・総合など	男性	55歳	北海道	小学校教員
小学5, 6年	国語	男性	52歳	滋賀県	小学校教員
中学3年	社会科	男性	53歳	奈良県	中学校教員
中学1	国語	女性	42歳	北海道	中学校教員
中学2年	技術・家庭科	男性	52歳	徳島県	中学校教員
高校1年	保健	男性	52歳	新潟県	高校教員
高校2・3年	商品開発	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
高校3年	物理	男性	50歳	大阪府	高校教員
高校2年	地理	男性	43歳	栃木県	高校教員
高校1年	数学	男性	51歳	滋賀県	高校教員
高校3年生	現代社会	男性	37歳	兵庫県	高校教員

学年・科目の垣根を超えてアクティブラーニングが活用されている。

2. 主に導入しているアクティブラーニングの手法

		全 体	グ ル ー プ ワ ー ク	問 題 解 決 学 習	カ ッ シ ョ ン デ ィ ス	体 験 学 習	シ ョ ン ゼ ン テ ー	調 査 学 習
全 体		100 100.0	79 79.0	59 59.0	56 56.0	40 40.0	39 39.0	36 36.0
地 域 別	北海道	9 100.0	8 88.9	6 66.7	7 77.8	2 22.2	5 55.6	5 55.6
	東北	9 100.0	7 77.8	6 66.7	3 33.3	4 44.4	3 33.3	5 55.6
	関東	27 100.0	19 70.4	16 59.3	18 66.7	15 55.6	11 40.7	10 37.0
	関西	16 100.0	12 75.0	9 56.3	7 43.8	4 25.0	4 25.0	4 25.0
	中部	17 100.0	16 94.1	9 52.9	10 58.8	6 35.3	3 17.6	4 23.5
	中国	10 100.0	9 90.0	4 40.0	5 50.0	4 40.0	5 50.0	4 40.0
	四国	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0
	九州	8 100.0	5 62.5	6 75.0	4 50.0	2 25.0	6 75.0	3 37.5

地域によって
アクティブラーニ
ングの導入手法
に差が見られる。

3. アクティブラーニングの具体的な実施方法

【小学校】

実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
考えを深める場面で、ペアやグループで話し合いをさせる。	女性	54歳	愛知県	小学校教員
学習した内容を活用して意見交換する時	男性	49歳	東京都	小学校教員
新しい計算の仕方や数量が出てきたときに、グループで解決方法を考えたり思いついた子が発表したりする。単元の導入や複数の解決方法があるときに実施する。	女性	52歳	東京都	小学校教員
授業の導入時の課題把握場面、考察場面、対話を促す場面、自分の考えを紹介する場面、発表する場面	男性	51歳	香川県	小学校教員
意見がでないときや、考えをたくさんだしてほしいとき	女性	34歳	群馬県	小学校教員
道徳に教科書の中から適切な単元を選び、自分だったらどう考えるかの立場を明確にして、その立場で賛成反対の意見を戦わせる	女性	60歳	東京都	小学校教員
算数・理科	男性	55歳	三重県	小学校教員
社会見学のとめを発表する。	男性	40歳	山口県	小学校教員
どの様にして、今の社会が成り立つか、議論してもらいます	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
授業過程の中、必ず子どもたち同士の話し合い活動を入れている	男性	42歳	長崎県	小学校教員
意見交換した方が効果的なとき	男性	45歳	東京都	小学校教員
調べ物をしたり、グループで調べたことを発表するときなど。	男性	55歳	北海道	小学校教員
社会科や理科、総合的な学習で問題解決学習を取り入れている。	女性	51歳	東京都	小学校教員
総合学習やまとめ、発表などの際	女性	38歳	愛知県	小学校教員
基礎を身につけた後、グループ発表の練習としてアクティブラーニングを行っている	女性	30歳	大阪府	小学校教員
どの授業でも意図的に使う。学年によるが特に総合的な学習や生活ではよく利用する	女性	37歳	東京都	小学校教員
算数のテーマ問題解決場面	男性	48歳	兵庫県	小学校教員

(アンケートから一部抜粋)

3. アクティブラーニングの具体的な実施方法

【中学校】

実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
生徒が主体的に課題を解決する場面を設定して、調べ学習や話し合いを行う。	男性	57歳	東京都	中学校教員
学習内容の発表 相互学習	男性	48歳	山梨県	中学校教員
総合的な学習の時間における課題解決学習とプレゼンテーション、音楽科における合唱の授業のパート練習から合唱の練り上げに至る過程。	女性	50歳	山形県	中学校教員
解答方法を考えるときに、一人では思いつかない生徒もいるために、グループの中で話し合いをして、解答方法を見つけ出す活動。また、一つの課題に対して、班で協力して解決する活動。話し合いや学びあいはほぼ、1時間の中で1回は実施している。	男性	50歳	石川県	中学校教員
毎時間何らかの形で入れるように努力している。	女性	27歳	滋賀県	中学校教員
課題について個人の意見を考えた後、グループによるまとめ活動	女性	58歳	群馬県	中学校教員
考える授業	女性	42歳	三重県	中学校教員
必要かつ有効と考えられるタイミングのすべてで。	男性	56歳	北海道	中学校教員
学校の研究テーマなので、全教科さまざまな場面で取り組んでいます	男性	41歳	北海道	中学校教員
歴史の流れから人物がどうすればよかったのかをグループ討議	男性	40歳	岡山県	中学校教員
大事なその日の目標文等を導入したあと、練習問題や課題に対してグループで取り組む。席もずっと班ごとに座っている。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
教科書の読解 学びの確認	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
情報の授業において、考えていることを発表するときに。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員
課題を提示し、自分で考えさせた後に話し合わせる。	男性	49歳	長野県	中学校教員

(アンケートから一部抜粋)

3. アクティブラーニングの具体的な実施方法

【高校】

実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
一領域が終わるごとに、グループ討議やディベートを行い理解度を確認している。また一定期間調べ学習を行いプレゼンテーションによる発表をしている。	男性	60歳	岡山県	高校教員
機会があるごとに、生徒の発話を引き出したい時に。	男性	39歳	岩手県	高校教員
問題の解法をお互いに考えさせる	男性	50歳	大阪府	高校教員
生徒の体力測定データをExcelで分析評価する	男性	55歳	埼玉県	高校教員
単元で興味をもってもらうために導入で使う時もあれば、授業全体で使う場合もある。	女性	33歳	北海道	高校教員
最初はペアでその後グループワークを取り入れている	男性	34歳	新潟県	高校教員
説明後の班活動を30分程度	男性	51歳	熊本県	高校教員
ほぼ毎時間	男性	39歳	岐阜県	高校教員
教科書の内容が終わったタイミングで教科書の理解を深めるために	男性	42歳	東京都	高校教員
体験することが効果的だと考えられる場面	男性	45歳	鳥取県	高校教員
テーマをより掘り下げて学んだり、修学旅行前や学期のまとめ等	男性	41歳	東京都	高校教員
座学で知識を教えた後に実際に農場で実物を見せる。	男性	31歳	愛媛県	高校教員
単元の終わりごろにまとめとして	男性	52歳	新潟県	高校教員
主に導入部。	男性	42歳	山形県	高校教員
日常的に	男性	42歳	北海道	高校教員
総合学習の時間	男性	55歳	茨城県	高校教員
1時間ずつの場合もあるし、まとめに使うこともあるし、いろいろ。	男性	63歳	大阪府	高校教員
授業の中盤で、教師が問いを発し、その間の答えを考える際に実施している。	男性	51歳	岡山県	高校教員
問題演習において	男性	51歳	滋賀県	高校教員

(アンケートから一部抜粋)

4. アクティブラーニングの実施目的

		全 体	学 生 ぶ 徒 力 の の 自 向 ら 上 考 え	積 生 極 徒 的 の な 能 授 動 業 的 参 ・ 加	学 習 効 果 の 向 上	話 生 す 徒 力 の の 論 向 理 上 的 に	受 進 験 学 対 率 策 ア ッ プ や	そ の 他
全 体		100 100.0	84 84.0	76 76.0	44 44.0	43 43.0	4 4.0	4 4.0
地 域 別	北海道	9 100.0	5 55.6	6 66.7	5 55.6	6 66.7	- -	1 11.1
	東北	9 100.0	6 66.7	8 88.9	6 66.7	1 11.1	- -	- -
	関東	27 100.0	26 96.3	20 74.1	12 44.4	13 48.1	2 7.4	- -
	関西	16 100.0	13 81.3	13 81.3	4 25.0	10 62.5	1 6.3	- -
	中部	17 100.0	16 94.1	12 70.6	5 29.4	5 29.4	1 5.9	2 11.8
	中国	10 100.0	9 90.0	8 80.0	7 70.0	4 40.0	- -	1 10.0
	四国	4 100.0	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	- -	- -
	九州	8 100.0	5 62.5	6 75.0	2 25.0	2 25.0	- -	- -

5. アクティブラーニング導入に際し行った環境整備・設備導入

		全 体	ト 端 末 パ ソ コ ン ヤ タ ブ レ ッ	の 教 室 ス ペ ー ス や 映 像 視 聴 用 の 専 用	備 無 線 L A N な ど の 設	職 員 や サ ポ ー ト 教 員	グ に 詳 しい 専 門 の 教 員	グ L M S や e ラ ー ニ ン	そ の 他	の 特 は な い に 導 入 し て い る も
全 体		100 100.0	34 34.0	18 18.0	16 16.0	13 13.0	2 2.0	2 2.0	2 2.0	53 53.0
地 域 別	北海道	9 100.0	3 33.3	1 11.1	2 22.2	- -	1 11.1	- -	- -	6 66.7
	東北	9 100.0	4 44.4	1 11.1	- -	- -	- -	- -	- -	5 55.6
	関東	27 100.0	11 40.7	5 18.5	6 22.2	6 22.2	1 3.7	1 3.7	1 3.7	12 44.4
	関西	16 100.0	3 18.8	3 18.8	- -	1 6.3	- -	- -	- -	11 68.8
	中部	17 100.0	4 23.5	4 23.5	3 17.6	2 11.8	- -	- -	- -	10 58.8
	中国	10 100.0	4 40.0	2 20.0	4 40.0	3 30.0	- -	1 10.0	- -	3 30.0
	四国	4 100.0	3 75.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	1 25.0
	九州	8 100.0	2 25.0	2 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	5 62.5

6. アクティブラーニング導入に際し行った教員の指導力向上の取り組み

		全 体	教 員 の 参 加	教 員 勉 強 会 の 授 業 実 施 参 観	模 擬 授 業 の 実 施	そ の 他	特 に 取 り 組 み な い で い
全 体		100 100.0	50 50.0	41 41.0	22 22.0	2 2.0	32 32.0
地 域 別	北海道	9 100.0	2 22.2	4 44.4	3 33.3	- -	4 44.4
	東北	9 100.0	3 33.3	4 44.4	1 11.1	1 11.1	3 33.3
	関東	27 100.0	13 48.1	6 22.2	5 18.5	- -	11 40.7
	関西	16 100.0	11 68.8	12 75.0	5 31.3	- -	2 12.5
	中部	17 100.0	10 58.8	4 23.5	4 23.5	- -	5 29.4
	中国	10 100.0	5 50.0	6 60.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0
	四国	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -	2 50.0
	九州	8 100.0	5 62.5	3 37.5	2 25.0	- -	3 37.5

関西・中国・九州
地方の教員は
指導力向上の
取り組みに
積極的な傾向。

7. 導入後、成果を実感したり授業・生徒の良い変化を感じたか

		全 体	は い	い い え	え な い ら と も い
全 体		100 100.0	59 59.0	1 1.0	40 40.0
地 域 別	北海道	9 100.0	5 55.6	- -	4 44.4
	東北	9 100.0	6 66.7	- -	3 33.3
	関東	27 100.0	13 48.1	1 3.7	13 48.1
	関西	16 100.0	13 81.3	- -	3 18.8
	中部	17 100.0	7 41.2	- -	10 58.8
	中国	10 100.0	7 70.0	- -	3 30.0
	四国	4 100.0	2 50.0	- -	2 50.0
	九州	8 100.0	6 75.0	- -	2 25.0

成果を実感して
いる教員は
関西・中国・
九州地方で
目立つ結果に。

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【小学校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
意見を聞くだけのお客さんのような生徒が減った。	女性	28歳	大阪府	小学校教員
協力したり支援し合ったり、他を思いやる姿が見られるようになった。	男性	52歳	岡山県	小学校教員
進んで学習するようになっている。	男性	42歳	長崎県	小学校教員
子どもたち同士で助け合って学習を深めている	女性	35歳	京都府	小学校教員
その時間の学習課題を多数の児童が明確にして学習に臨めるようになった	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
意欲的に調べて、それを発表しようとする態度が育った。	男性	55歳	北海道	小学校教員
ニュースに関心を持つ生徒が増えた。	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
交流への参加意欲、問題への意識、調査活動への意欲が高まった。	男性	59歳	福岡県	小学校教員
友達同士で助け合っていく姿が観察でき、お互いで学びあったことをシェアしていくことでさまざまな価値観をお互いで吸収していくことができた。	男性	35歳	神奈川県	小学校教員
学習スタイルの確立	男性	41歳	福島県	小学校教員
積極的になった	男性	31歳	神奈川県	小学校教員
道徳の「泣いた赤おに」で最後に青おにを選ぶか村人と仲良くしていくかお互い考えさせた	女性	60歳	東京都	小学校教員
新しいタイプの筆算の導入で、問題を与えて既習事項をもとに考えさせた。答えが2通り出たが、少数派の子どもが「たぶん僕のは違うと思うけれど、説明してもいいですか」といい、前に出て計算のプロセスを説明した。それに応えて他の子が「うまく行ったところ」と「違っていたところの説明」をしてくれた。	女性	52歳	東京都	小学校教員
自分たちの地域を調べることで郷土愛が育つ	女性	44歳	秋田県	小学校教員
算数で複雑な立体の体積を求める際、様々な立体の切り方があることを求める場面。	男性	38歳	新潟県	小学校教員

（アンケートから一部抜粋）

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【中学校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
能動的な活動によって、生徒の学習内容の理解度が高まった。	男性	56歳	北海道	中学校教員
授業の雰囲気が変わった	男性	48歳	兵庫県	中学校教員
発表の能力が上がった	男性	48歳	山梨県	中学校教員
自分なりに考える力が付いてきた。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員
寝る生徒やわからない生徒が減った	女性	42歳	三重県	中学校教員
主体的に学習に参加する生徒が多く見えた。	女性	32歳	茨城県	中学校教員
問題を解くときにお互いに話し合いながら解いていく。	男性	49歳	長野県	中学校教員
基本班ごとの生活にしている、生活班も学習もともにすることでお互い、切磋琢磨でき、わからない友達をサポートすることで教える方もチカラがつく。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
理科で『雲の作り方』を説明しようとした時に、4つのグループにヒントとなる知識をひとつずつ与え内容理解を深めた。その後、同じグループでなかったメンバーで新たなグループを組み、初めの活動で得たヒントを説明し、4つのヒント全てを組み合わせで問題解決にのぞんだ。	女性	37歳	鳥取県	中学校教員

（アンケートから一部抜粋）

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【高校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
受け身ではなくなった	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
主体性が身に付いた	男性	50歳	埼玉県	高校教員
思考力や表現力の向上	男性	46歳	岐阜県	高校教員
居眠りをしなくなった	男性	39歳	岩手県	高校教員
積極的な授業参加が見られるようになった。	男性	42歳	山形県	高校教員
情報の共有化ができるようになった	男性	37歳	兵庫県	高校教員
時間が早く進むとの反応が多い	男性	51歳	熊本県	高校教員
生徒がよく話すようになった	男性	52歳	新潟県	高校教員
余計な私語をする生徒が減った	男性	50歳	大阪府	高校教員
これまで、聞くことだけでおわっていた生徒も、授業に参加することにより、主体的に物事を考えるようになった。	男性	51歳	岡山県	高校教員
積極的に参加するし、発言する姿勢が見られる	男性	60歳	福岡県	高校教員
どちらかというと自ら進んで学習するという意欲に乏しい生徒集団であったが、導入後は積極的に意見を述べ、進んで活動しようとする態度が見られるようになった。またリーダー性も身についてきた生徒も見られた。	男性	60歳	岡山県	高校教員
デジタル教科書を使った、英単語や教科書の音読をグループでゲーム性をもたせて行う。	女性	33歳	北海道	高校教員
プレゼンの力が付く 目立たない生徒の力を引き出せる	男性	61歳	大阪府	高校教員
訪問看護の実施機関を生徒自身で調べ発表	女性	47歳	熊本県	高校教員
Excelを使ったデータの分析	男性	55歳	埼玉県	高校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【小学校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
多様な考えに出会えたこと	男性	38歳	新潟県	小学校教員
学習は自分たちで進めていくという意識の変化	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
黙ってはいけないという自覚が目覚めてきている。	女性	28歳	大阪府	小学校教員
教師主導でないため、さまざまな発想、方法が見られる。	女性	35歳	京都府	小学校教員
自分たちで学習を進めるという意識が強まったため。	男性	59歳	福岡県	小学校教員
互いの見つけたよいところを共有	女性	23歳	東京都	小学校教員
普段の授業とは違う取組の中で、遊戯性を取り入れた点や積極的発言をさせていく中で、生徒の主体性を高め学ぶ意欲を高められた点。一番の要因は、生徒同士積極的に話し合う点である。	男性	35歳	神奈川県	小学校教員
主体性を持って学習に取り組んだから	男性	41歳	福島県	小学校教員
ピアサポート・協同学習が校内でパターン化されてきたから。	男性	52歳	岡山県	小学校教員
画像や映像によって視覚的に感じ取ることができること	男性	58歳	広島県	小学校教員
問題を自分で設定し解決する過程に学びが多かったのだ。	女性	51歳	東京都	小学校教員
分かる子供が力を発揮できる。理解の遅い子に支援できる。	女性	54歳	愛知県	小学校教員
考えがまとまらなくても、途中までしか説明できなくても、友だちがその続きを考えて解決すればいいという授業をしてきた。自分の考えを持つことの大切さがわかってきたので、自分の考えが間違っていると思っても、友だちに助けてもらおうとする気持ちが出てきたのだと思う。また、クラスの中に、間違えることをけなすような空気がなくなったのがよかったのだと思う。	女性	52歳	東京都	小学校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【中学校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
一人ひとりに役割を与え、全員が参加できるようにした。	女性	27歳	滋賀県	中学校教員
教員の意識改革	男性	48歳	兵庫県	中学校教員
聞いているだけでは授業が進まないの、自らやらざるを得ない状況が良かったと思う。	女性	32歳	茨城県	中学校教員
自分で考えさせること。答えは教えてもらえないと分かっているので、お互いに解決しよう。	男性	49歳	長野県	中学校教員
生徒の主体的な活動によって、学習活動が活性化された。	男性	56歳	北海道	中学校教員
教師が一律に教授するより、仲間で教え合う方が伝え合いやすい。	男性	53歳	奈良県	中学校教員
互いに教えあう場面	男性	41歳	北海道	中学校教員
教える側も教えられる側もチカラがつく。教える方は論理的に人にわかりやすく教えることで自分のチカラがつくことが顕著になった。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
皆が考える機会を持つ	女性	27歳	東京都	中学校教員
自分自身が理解できていないと教えることができない。よって、理解しようと高い意識をもって学習に取り組む生徒が増えた。	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
自分のやっていることが、ディスカッションで感じ取りやすくなったから。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【高校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
みんなの前で話さなければならぬ場面を作り出すから	男性	60歳	福岡県	高校教員
題材の精選と意見を引き出す展開	男性	60歳	岡山県	高校教員
だれでも参加できる難易度の設定。	男性	42歳	山形県	高校教員
グループ内で自分の役割ができるから	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
生徒が話すことで脳を使うようになった	男性	39歳	岩手県	高校教員
わかる生徒がわからない生徒へ伝えることで、やることのない生徒がいなくなったこと	男性	50歳	大阪府	高校教員
自分の考えを述べることになれてきて、根拠をもって意見を述べることの大切さを認識できたから	男性	51歳	岡山県	高校教員
自分に興味のあるテーマを設定させたから	男性	43歳	栃木県	高校教員
グループの中で全員に責任ある役割を与えた	男性	37歳	兵庫県	高校教員

（アンケートから一部抜粋）

クロス表 【成果の有無別】

1. アクティブラーニングの導入範囲

		全 体	全 教 科 全 学 年 ほ ぼ	一 部 の 学 年 の 科 目	全 科 目 一 部 の 学 年 の	一 部 の 学 年 の 科 目
全 体		100 100.0	61 61.0	21 21.0	5 5.0	13 13.0
有 成 無 果 別 の	はい	59 100.0	36 61.0	12 20.3	3 5.1	8 13.6
	いいえ	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -
	どちらともいえない	40 100.0	24 60.0	9 22.5	2 5.0	5 12.5

1-1. 「全学年の一部の科目」の内訳（導入した科目名）

全学年の一部の科目（導入した科目名）	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
算数	男性	55歳	三重県	小学校教員
社会科、総合	男性	45歳	北海道	小学校教員
社会	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
国語、算数	男性	45歳	東京都	小学校教員
算数	男性	53歳	秋田県	小学校教員
算数、理科、国語、社会科、道徳	女性	52歳	東京都	小学校教員
算数、国語、体育、生活	女性	35歳	京都府	小学校教員
算数、理科	男性	48歳	広島県	小学校教員
音楽	女性	30歳	大阪府	小学校教員
生活科、総合的な学習	男性	59歳	福岡県	小学校教員
道徳	男性	51歳	東京都	小学校教員
単元による	男性	31歳	神奈川県	小学校教員
算数	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
総合学習、日本語	女性	46歳	東京都	中学校教員
国語	男性	41歳	北海道	中学校教員
理科	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
体育	男性	54歳	長野県	高校教員
数学、物理	男性	60歳	福岡県	高校教員
英語、国語、社会	男性	41歳	東京都	高校教員
コミュニケーション英語Ⅱ	男性	42歳	山形県	高校教員
社会	男性	30歳	福岡県	高校教員

1 - 2. 「一部の学年の全科目」の内訳（導入した学年）

一部の学年の全科目（導入した学年）	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
高校2年	男性	39歳	岐阜県	高校教員
高校3年	男性	31歳	愛媛県	高校教員

1-3. 「一部の学年の一部の科目」の内訳（導入した学年・科目名）

一部の学年の一部の科目（導入した学年）		回答者属性			
導入した学年	導入した科目名	性別	年齢	居住地域	職業
小学2年	道徳	女性	60歳	東京都	小学校教員
小学3年	算数	男性	39歳	東京都	小学校教員
小学3	国語・社会・総合など	男性	55歳	北海道	小学校教員
小学5, 6年	国語	男性	52歳	滋賀県	小学校教員
中学3年	社会科	男性	53歳	奈良県	中学校教員
中学1	国語	女性	42歳	北海道	中学校教員
中学2年	技術・家庭科	男性	52歳	徳島県	中学校教員
高校1年	保健	男性	52歳	新潟県	高校教員
高校2・3年	商品開発	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
高校3年	物理	男性	50歳	大阪府	高校教員
高校2年	地理	男性	43歳	栃木県	高校教員
高校1年	数学	男性	51歳	滋賀県	高校教員
高校3年生	現代社会	男性	37歳	兵庫県	高校教員

学年・科目の垣根を超えてアクティブラーニングが活用されている。

2. 主に導入しているアクティブラーニングの手法

		全 体	グ ル ー プ ワ ー ク	問 題 解 決 学 習	カ ッ シ ョ ン グ ル ー プ デ ィ ス	体 験 学 習	ン プ レ ゼ ン テ ー シ ョ	調 査 学 習
全 体		100 100.0	79 79.0	59 59.0	56 56.0	40 40.0	39 39.0	36 36.0
有 成 無 果 別 の	はい	59 100.0	46 78.0	37 62.7	37 62.7	24 40.7	24 40.7	27 45.8
	いいえ	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -
	どちらともいえない	40 100.0	33 82.5	22 55.0	19 47.5	15 37.5	15 37.5	9 22.5

成果があったと
答えた教員は
「問題解決学習」
「グループディスカッション」
「調査学習」の導入率が
平均より高めの傾向。

3. アクティブラーニングの具体的な実施方法

【小学校】

実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
考えを深める場面で、ペアやグループで話し合いをさせる。	女性	54歳	愛知県	小学校教員
学習した内容を活用して意見交換する時	男性	49歳	東京都	小学校教員
新しい計算の仕方や数量が出てきたときに、グループで解決方法を考えたり思いついた子が発表したりする。単元の導入や複数の解決方法があるときに実施する。	女性	52歳	東京都	小学校教員
授業の導入時の課題把握場面、考察場面、対話を促す場面、自分の考えを紹介する場面、発表する場面	男性	51歳	香川県	小学校教員
意見がでないときや、考えをたくさんだしてほしいとき	女性	34歳	群馬県	小学校教員
道徳に教科書の中から適切な単元を選び、自分だったらどう考えるかの立場を明確にして、その立場で賛成反対の意見を戦わせる	女性	60歳	東京都	小学校教員
算数・理科	男性	55歳	三重県	小学校教員
社会見学のとめを発表する。	男性	40歳	山口県	小学校教員
どの様にして、今の社会が成り立つか、議論してもらいます	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
授業過程の中、必ず子どもたち同士の話し合い活動を入れている	男性	42歳	長崎県	小学校教員
意見交換した方が効果的なとき	男性	45歳	東京都	小学校教員
調べ物をしたり、グループで調べたことを発表するときなど。	男性	55歳	北海道	小学校教員
社会科や理科、総合的な学習で問題解決学習を取り入れている。	女性	51歳	東京都	小学校教員
総合学習やまとめ、発表などの際	女性	38歳	愛知県	小学校教員
基礎を身につけた後、グループ発表の練習としてアクティブラーニングを行っている	女性	30歳	大阪府	小学校教員
どの授業でも意図的に使う。学年によるが特に総合的な学習や生活ではよく利用する	女性	37歳	東京都	小学校教員
算数のテーマ問題解決場面	男性	48歳	兵庫県	小学校教員

(アンケートから一部抜粋)

3. アクティブラーニングの具体的な実施方法

【中学校】

実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
生徒が主体的に課題を解決する場面を設定して、調べ学習や話し合いを行う。	男性	57歳	東京都	中学校教員
学習内容の発表 相互学習	男性	48歳	山梨県	中学校教員
総合的な学習の時間における課題解決学習とプレゼンテーション、音楽科における合唱の授業のパート練習から合唱の練り上げに至る過程。	女性	50歳	山形県	中学校教員
解答方法を考えるときに、一人では思いつかない生徒もいるために、グループの中で話し合いをして、解答方法を見つけ出す活動。また、一つの課題に対して、班で協力して解決する活動。話し合いや学びあいはほぼ、1時間の中で1回は実施している。	男性	50歳	石川県	中学校教員
毎時間何らかの形で入れるように努力している。	女性	27歳	滋賀県	中学校教員
課題について個人の意見を考えた後、グループによるまとめ活動	女性	58歳	群馬県	中学校教員
考える授業	女性	42歳	三重県	中学校教員
必要かつ有効と考えられるタイミングのすべてで。	男性	56歳	北海道	中学校教員
学校の研究テーマなので、全教科さまざまな場面で取り組んでいます	男性	41歳	北海道	中学校教員
歴史の流れから人物がどうすればよかったのかをグループ討議	男性	40歳	岡山県	中学校教員
大事なその日の目標文等を導入したあと、練習問題や課題に対してグループで取り組む。席もずっと班ごとに座っている。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
教科書の読解 学びの確認	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
情報の授業において、考えていることを発表するときに。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員
課題を提示し、自分で考えさせた後に話し合わせる。	男性	49歳	長野県	中学校教員

(アンケートから一部抜粋)

3. アクティブラーニングの具体的な実施方法

【高校】

実施方法	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
一領域が終わるごとに、グループ討議やディベートを行い理解度を確認している。また一定期間調べ学習を行いプレゼンテーションによる発表をしている。	男性	60歳	岡山県	高校教員
機会があるごとに、生徒の発話を引き出したい時に。	男性	39歳	岩手県	高校教員
問題の解法をお互いに考えさせる	男性	50歳	大阪府	高校教員
生徒の体力測定データをExcelで分析評価する	男性	55歳	埼玉県	高校教員
単元で興味をもってもらうために導入で使う時もあれば、授業全体で使う場合もある。	女性	33歳	北海道	高校教員
最初はペアでその後グループワークを取り入れている	男性	34歳	新潟県	高校教員
説明後の班活動を30分程度	男性	51歳	熊本県	高校教員
ほぼ毎時間	男性	39歳	岐阜県	高校教員
教科書の内容が終わったタイミングで教科書の理解を深めるために	男性	42歳	東京都	高校教員
体験することが効果的だと考えられる場面	男性	45歳	鳥取県	高校教員
テーマをより掘り下げて学んだり、修学旅行前や学期のまとめ等	男性	41歳	東京都	高校教員
座学で知識を教えた後に実際に農場で実物を見せる。	男性	31歳	愛媛県	高校教員
単元の終わりごろにまとめとして	男性	52歳	新潟県	高校教員
主に導入部。	男性	42歳	山形県	高校教員
日常的に	男性	42歳	北海道	高校教員
総合学習の時間	男性	55歳	茨城県	高校教員
1時間ずつの場合もあるし、まとめに使うこともあるし、いろいろ。	男性	63歳	大阪府	高校教員
授業の中盤で、教師が問いを発し、その間の答えを考える際に実施している。	男性	51歳	岡山県	高校教員
問題演習において	男性	51歳	滋賀県	高校教員

(アンケートから一部抜粋)

4. アクティブラーニングの実施目的

		全 体	学 生 ぶ 徒 力 の 自 ら 向 上 考 え	積 生 極 徒 的 の な 能 授 動 業 的 参 ・ 加	学 習 効 果 の 向 上	話 生 す 徒 力 の 論 理 的 的 に	受 進 験 学 対 率 策 ア ッ プ や	そ の 他
全 体		100 100.0	84 84.0	76 76.0	44 44.0	43 43.0	4 4.0	4 4.0
有 成 無 果 別 の	はい	59 100.0	53 89.8	50 84.7	31 52.5	29 49.2	2 3.4	2 3.4
	いいえ	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -
	どちらともいえない	40 100.0	31 77.5	26 65.0	13 32.5	13 32.5	2 5.0	2 5.0

5. アクティブラーニング導入に際し行った環境整備・設備導入

		全 体	ト 端 末 コ ン ヤ タ ブ レ ッ	の 教 室 ス ペ ー ス の 専 用	や 映 像 視 聴 用 の 専 用	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	備 無 線 L A N な ど の 設	職 員 や サ ポ ー ト 教 員	グ ア ク テ ィ ブ ラ ー ニ ン	グ L M S や e ラ ー ニ ン	そ の 他	の 特 は な い 入 し て い る も
全 体		100 100.0	34 34.0	18 18.0	16 16.0	13 13.0	2 2.0	2 2.0	53 53.0			
有 成 無 果 別 の	はい	59 100.0	25 42.4	14 23.7	8 13.6	9 15.3	2 3.4	1 1.7	28 47.5			
	いいえ	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -			
	どちらともいえない	40 100.0	9 22.5	4 10.0	7 17.5	4 10.0	- -	1 2.5	25 62.5			

成果があったと
答えた教員は
設備導入率が
平均より高い。

6. アクティブラーニング導入に際し行った教員の指導力向上の取り組み

		全 体	へ 教 の 員 参 向 加 け 研 修 講 演	や 教 勉 員 強 間 会 の の 授 実 業 施 参 観	模 擬 授 業 の 実 施	そ の 他	る 特 こ に と 取 は り な 組 い ん で い
全 体		100 100.0	50 50.0	41 41.0	22 22.0	2 2.0	32 32.0
有 成 無 果 別 の	はい	59 100.0	34 57.6	29 49.2	18 30.5	2 3.4	14 23.7
	いいえ	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -
	どちらともいえない	40 100.0	16 40.0	12 30.0	3 7.5	- -	18 45.0

成果があったと
答えた教員は
指導力向上の
取り組み実施率
が高い。

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【小学校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
意見を聞くだけのお客さんのような生徒が減った。	女性	28歳	大阪府	小学校教員
協力したり支援し合ったり、他を思いやる姿が見られるようになった。	男性	52歳	岡山県	小学校教員
進んで学習するようになっている。	男性	42歳	長崎県	小学校教員
子どもたち同士で助け合って学習を深めている	女性	35歳	京都府	小学校教員
その時間の学習課題を多数の児童が明確にして学習に臨めるようになった	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
意欲的に調べて、それを発表しようとする態度が育った。	男性	55歳	北海道	小学校教員
ニュースに関心を持つ生徒が増えた。	男性	27歳	兵庫県	小学校教員
交流への参加意欲、問題への意識、調査活動への意欲が高まった。	男性	59歳	福岡県	小学校教員
友達同士で助け合っていく姿が観察でき、お互いで学びあったことをシェアしていくことでさまざまな価値観をお互いで吸収していくことができた。	男性	35歳	神奈川県	小学校教員
学習スタイルの確立	男性	41歳	福島県	小学校教員
積極的になった	男性	31歳	神奈川県	小学校教員
道徳の「泣いた赤おに」で最後に青おにを選ぶか村人と仲良くしていくかお互い考えさせた	女性	60歳	東京都	小学校教員
新しいタイプの筆算の導入で、問題を与えて既習事項をもとに考えさせた。答えが2通り出たが、少数派の子どもが「たぶん僕のは違うと思うけれど、説明してもいいですか」といい、前に出て計算のプロセスを説明した。それに応えて他の子が「うまく行ったところ」と「違っていたところの説明」をしてくれた。	女性	52歳	東京都	小学校教員
自分たちの地域を調べることで郷土愛が育つ	女性	44歳	秋田県	小学校教員
算数で複雑な立体の体積を求める際、様々な立体の切り方があることを求める場面。	男性	38歳	新潟県	小学校教員

（アンケートから一部抜粋）

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【中学校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
能動的な活動によって、生徒の学習内容の理解度が高まった。	男性	56歳	北海道	中学校教員
授業の雰囲気が変わった	男性	48歳	兵庫県	中学校教員
発表の能力が上がった	男性	48歳	山梨県	中学校教員
自分なりに考える力が付いてきた。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員
寝る生徒やわからない生徒が減った	女性	42歳	三重県	中学校教員
主体的に学習に参加する生徒が多く見えた。	女性	32歳	茨城県	中学校教員
問題を解くときにお互いに話し合いながら解いていく。	男性	49歳	長野県	中学校教員
基本班ごとの生活にしている、生活班も学習もともにすることでお互い、切磋琢磨でき、わからない友達をサポートすることで教える方もチカラがつく。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
理科で『雲の作り方』を説明しようとした時に、4つのグループにヒントとなる知識をひとつずつ与え内容理解を深めた。その後、同じグループでなかったメンバーで新たなグループを組み、初めの活動で得たヒントを説明し、4つのヒント全てを組み合わせで問題解決にのぞんだ。	女性	37歳	鳥取県	中学校教員

（アンケートから一部抜粋）

8. 成果や変化を感じた具体的事例（設問7で「はい」と回答した方へ）

【高校】

成果・変化を感じた具体的事例	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
受け身ではなくなった	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
主体性が身に付いた	男性	50歳	埼玉県	高校教員
思考力や表現力の向上	男性	46歳	岐阜県	高校教員
居眠りをしなくなった	男性	39歳	岩手県	高校教員
積極的な授業参加が見られるようになった。	男性	42歳	山形県	高校教員
情報の共有化ができるようになった	男性	37歳	兵庫県	高校教員
時間が早く進むとの反応が多い	男性	51歳	熊本県	高校教員
生徒がよく話すようになった	男性	52歳	新潟県	高校教員
余計な私語をする生徒が減った	男性	50歳	大阪府	高校教員
これまで、聞くことだけでおわっていた生徒も、授業に参加することにより、主体的に物事を考えるようになった。	男性	51歳	岡山県	高校教員
積極的に参加するし、発言する姿勢が見られる	男性	60歳	福岡県	高校教員
どちらかというと自ら進んで学習するという意欲に乏しい生徒集団であったが、導入後は積極的に意見を述べ、進んで活動しようとする態度が見られるようになった。またリーダー性も身についてきた生徒も見られた。	男性	60歳	岡山県	高校教員
デジタル教科書を使った、英単語や教科書の音読をグループでゲーム性をもたせて行う。	女性	33歳	北海道	高校教員
プレゼンの力が付く 目立たない生徒の力を引き出せる	男性	61歳	大阪府	高校教員
訪問看護の実施機関を生徒自身で調べ発表	女性	47歳	熊本県	高校教員
Excelを使ったデータの分析	男性	55歳	埼玉県	高校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【小学校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
多様な考えに出会えたこと	男性	38歳	新潟県	小学校教員
学習は自分たちで進めていくという意識の変化	男性	48歳	兵庫県	小学校教員
黙ってはいけないという自覚が目覚めてきている。	女性	28歳	大阪府	小学校教員
教師主導でないため、さまざまな発想、方法が見られる。	女性	35歳	京都府	小学校教員
自分たちで学習を進めるという意識が強まったため。	男性	59歳	福岡県	小学校教員
互いの見つけたよいところを共有	女性	23歳	東京都	小学校教員
普段の授業とは違う取組の中で、遊戯性を取り入れた点や積極的発言をさせていく中で、生徒の主体性を高め学ぶ意欲を高められた点。一番の要因は、生徒同士積極的に話し合う点である。	男性	35歳	神奈川県	小学校教員
主体性を持って学習に取り組んだから	男性	41歳	福島県	小学校教員
ピアサポート・協同学習が校内でパターン化されてきたから。	男性	52歳	岡山県	小学校教員
画像や映像によって視覚的に感じ取ることができること	男性	58歳	広島県	小学校教員
問題を自分で設定し解決する過程に学びが多かったのだ。	女性	51歳	東京都	小学校教員
分かる子供が力を発揮できる。理解の遅い子に支援できる。	女性	54歳	愛知県	小学校教員
考えがまとまらなくても、途中までしか説明できなくても、友だちがその続きを考えて解決すればいいという授業をしてきた。自分の考えを持つことの大切さがわかってきたので、自分の考えが間違っていると思っても、友だちに助けてもらおうとする気持ちが出てきたのだと思う。また、クラスの中に、間違えることをけなすような空気がなくなったのがよかったのだと思う。	女性	52歳	東京都	小学校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【中学校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
一人ひとりに役割を与え、全員が参加できるようにした。	女性	27歳	滋賀県	中学校教員
教員の意識改革	男性	48歳	兵庫県	中学校教員
聞いているだけでは授業が進まないの、自らやらざるを得ない状況が良かったと思う。	女性	32歳	茨城県	中学校教員
自分で考えさせること。答えは教えてもらえないと分かっているので、お互いに解決しあう。	男性	49歳	長野県	中学校教員
生徒の主体的な活動によって、学習活動が活性化された。	男性	56歳	北海道	中学校教員
教師が一律に教授するより、仲間で教え合う方が伝え合いやすい。	男性	53歳	奈良県	中学校教員
互いに教えあう場面	男性	41歳	北海道	中学校教員
教える側も教えられる側もチカラがつく。教える方は論理的に人にわかりやすく教えることで自分のチカラがつくことが顕著になった。	女性	59歳	大阪府	中学校教員
皆が考える機会を持つ	女性	27歳	東京都	中学校教員
自分自身が理解できていないと教えることができない。よって、理解しようと高い意識をもって学習に取り組む生徒が増えた。	女性	37歳	鳥取県	中学校教員
自分のやっていることが、ディスカッションで感じ取りやすくなったから。	男性	45歳	愛媛県	中学校教員

（アンケートから一部抜粋）

9. 成果が出た要因として考えられるもの（設問7で「はい」と回答した方へ）

【高校】

成果が出た要因	回答者属性			
	性別	年齢	居住地域	職業
みんなの前で話さなければならぬ場面を作り出すから	男性	60歳	福岡県	高校教員
題材の精選と意見を引き出す展開	男性	60歳	岡山県	高校教員
だれでも参加できる難易度の設定。	男性	42歳	山形県	高校教員
グループ内で自分の役割ができるから	男性	42歳	鹿児島県	高校教員
生徒が話すことで脳を使うようになった	男性	39歳	岩手県	高校教員
わかる生徒がわからない生徒へ伝えることで、やることのない生徒がいなくなったこと	男性	50歳	大阪府	高校教員
自分の考えを述べることになれてきて、根拠をもって意見を述べることの大切さを認識できたから	男性	51歳	岡山県	高校教員
自分に興味のあるテーマを設定させたから	男性	43歳	栃木県	高校教員
グループの中で全員に責任ある役割を与えた	男性	37歳	兵庫県	高校教員

（アンケートから一部抜粋）

アクティブラーニングに関する意識調査報告書

2015年12月発行

発行：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
株式会社Z会ラーニング・テクノロジー

(禁無断転載・転用・複写)